

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

第六十四回 帝國議會 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會議錄(速記)第六回

衆議院 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

議院 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和八年二月十日(金曜日)午後一時四十分

開議
出席委員左ノ如シ
委員長 金光 唐夫君
理事木暮武太夫君 理事堀川 美哉君
理事池田 敬八君 理事矢野庄太郎君
理事中川 觀秀君
鈴木 英雄君 兼田 秀雄君
壽原英太郎君 武田徳三郎君
豊田 收君 水久保甚作君
高見 之通君 沖島 錄三君
櫻井兵五郎君 前田房之助君
中村三之丞君 小山 谷藏君
出席政府委員左ノ如シ
大藏政務次官 堀切善兵衛君
大藏省理財局長 富田勇太郎君
拓務政務次官 堤 康次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君
朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君
樺太廳長官 今村 武志君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル
爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特
別會計及官立大學工學部設置ニ付帝國大學
特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

○高見委員 此間モ拓務大臣ニ御願シテ
アツタ材料デスガ、ソレハ滿洲、特ニ吉林
省ノ張學良等カラ沒收シタヤウナ財產、或
ハ個人所有ニ非ズシテ全ク國有ニナツテ居
ル所ノ財產ガ相當アル、ソレハドウ云フヤ
ル法律案(政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)
樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)
地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君
外一名提出)
間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安
達謙藏君外一名提出)
貨幣法中改正法律案(政府提出)

デアルト云フヤウナ御話モアルノデアリマ
スガ、サウ云フヤウナ狀態ニナツテ居ル吉
林ノ資源ノ材料ガアルナラバ調べテ貰ヒタ
イ、例ヘバ琿春州ナドニハドウ云フヤウナ
民有地ガドレダケアルカ、ソレカラ更ニ開
拓シ得ル地面ガ幾ラアルカ、其中ニアル鑛
山、山林ト云フヤウナモノハドウ云フ具合
ニ調ベラレテアルカ、サウ云フモノヲ拓務
省ハ多少御調べニナツテ居ラレマセウカラ、
其材料ヲ一ツ出シテ貰ヒタイト云フコトヲ
賴ンデ置キマシタ、是ハ是非一ツ御願シテ
置キマス、私ハ富山縣デアリマスガ、北陸
方面邊リデハ移民問題等ハ、或縣ノ如キハ
農業移民ト云フモノハ全然見込ハナイモノ
デアルト云フ風ニ議論サル、人ガ隨分アリ
マスガ、北陸方面カラ北海道ニ行ッテ居ル
移民ノ成績ヲ見マスト、福井、石川、富山、新
潟、是等ノ縣ノ移民ハ相當ニ成功シテ居リ

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル
法律案(政府提出)
昭和八年二月一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公
債發行ニ關スル法律案(政府提出)
(政府提出) 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)
地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一
名提出) 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)
間接國稅犯則者處分法中改正法律案(安達謙
藏君外一名提出) 樺太事業公債法中改正法律案(政府提出)
貨幣法中改正法律案(政府提出)

奈陀「モロッコ」白耳義「ラトビア」波蘭「アル
ベニー」愛蘭自由國、希臘、斯ウ云フ國
デアリマス、尙ホ其他ノ點ハ理財局長ヨリ
御答辯申上ゲマス

○富田政府委員 只今ノ御質問ノ中デ、第
一ノ「ニッケル」貨幣ハ白銅貨幣ヨリモ硬イ
カラ造幣ノ費用ガ多ク掛拉斯カト云フコト
デアリマスガ、白銅貨幣ト「ニッケル」貨幣
トノ鑄造費ノ比較ハチヨツト今調ヲ持ツテ居
リマセヌガ、純「ニッケル」貨幣ノ製造費ノ
一個當リノ計算ハ斯ウ云フコトニナツテ居
リマス、十錢ノ「ニッケル」貨幣ハ一個當リ
ノ製造費ガ二錢八厘七毛デアリマシテ、一
個當リノ利益ハ七錢一厘三毛ト云フコトニ
ナル譯デアリマス、五錢ノ方ハ製造費ガ二
錢三厘二毛八デアリマス、利益ハ二錢六厘
七毛二ト云フ計算ニナリマス、ソレカラ補
助貨ニ最近偽造ガ非常ニ多イ、殊ニ五十錢
銀貨ニ付テハ偽造ガ非常ニ多イヤウデアル
ガ、ドウ云フ風ノコトニナツテ居ルカト云
フコトデアリマスガ、是モ警察方面カラ報
告ガ参リマシテ、ソレヲチヨツト集メタノ
ガアリマスガ、ドンナ風ニ話シタラ宜イカ
ト考ヘマスガ、後程纏メテ其實況ヲ御示シ
出來ルヤウナ形ニ於テ御話シタイト考ヘテ
居リマス、兎ニ角一番多イノハ五十錢銀貨

デアリマシテ、是ハ模様ガ非常ニ簡単デアッ
テ、且ツ五十錢銀貨ハ非常ニ薄クアリマス
ノデ、容易ニ模様ヲ附ケルコトガ出來ルモ
ノデアリマスカラ、内地ニ於テモ相當ニ偽
造ガアリマスガ、大規模ノ偽造ノ團體ガ支
那ノ沿岸、殊ニ上海、廈門、ア、云フ方面
ニアルヤウデアリマス、サウシテ是ハ外務
省ト連絡ヲ取リマシテ、種々調査及檢舉ノ
方法ヲ講ジテ居リマス、或ル場合ニ於テハ
夏門ノ附近ノ山ノ中ニ大規模ノ偽造團ガアッ
タ、ソレヲ支那ノ警察ト日本ノ領事館ト共
同シテ、ソレヲ調上ゲテ、相當内地ニ連絡
ガアツタノガ分リマシタカラ、ソレニ依ツテ
サウ云フ方面ノ偽造ヲ相當取締タヤウナ
例モアリマス、其他各方面ニ於テ五十錢銀
貨ノ偽造ガ出テ参リマス、其状況ハ後程相
當纏メテ御話申上ゲタイト考ヘテ居リマス
・ソレカラ「ニッケル」貨幣ノ例ハ只今政務
次官カラ申サレタ通リデアリマス、亞米利
加ニハ「ニッケル」貨幣ハアリマセヌ、英國
英米ノ系統ニハナインデアリマスガ、ソレ
ニモ「ニッケル」貨幣ハアリマセヌ、即チ
マス、ソレカラ五錢ノ方デ一錢二厘三毛五
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ現行ノ白銅貨幣
鑄造費ハ先程申上ゲタ通リニ十錢ノ方デハ
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ「ニッケル」貨幣
ノ方デハ一錢七厘〇九デアリマス、ソレカラ
五錢ノ方デハ一錢二厘三毛五二錢八厘七毛
デアリマス、隨テ白銅貨幣ヨリモ「ニッケル」
貨幣ヲ造ツタ方ガ損ガ參リマス、即チ其鑄造
ニ依ル利益ガ減ル譯デアリマス、大體此差
ヲ申シマスルト、十錢ノ方デハ一錢一厘六
毛ダケ利益ガ減ッテ參リマス、ソレカラ五
錢ノ方デハ一錢九毛ダケ利益ガ減ッテ參
譯デアリマス、現在白銅貨幣十錢、五錢ヲ
合計シマシテ約八千五百萬圓ダケ發行致シ
テ居リマス、其八千五百萬圓ヲ十年間ニ改
鑄スル、即チ毎年八百五十萬圓ヅツ引上ゲ

マシタ時ニ、其意匠ハ懸賞募集ヲシタノデ
アリマス、デ今回モ矢張懸賞募集ヲスル
問題ニナリマスノハ此孔ヲ開ケルカ或ハ孔
付テハ大藏省ニ於テモ有孔、無孔ノ兩方ニ
ノ白銅貨幣ト同ジニスル考デアリマスガ、
考デアリマス、ソレカラ大體大キサハ現在
ニアルヤウデアリマス、サウシテ是ハ外務
付テ大分長イ間ノ研究ヲ遂ゲタノデアリマ
スガ、結局ヤハリ現在ト同ジク有孔ニシタ
ガ宜カラウト云フコトニ決定シマシテ、現
在ノヨリモ少シ孔ヲ大キクシタ方ガ全體ノ
振合カラ云ツテモ宜イデハナイカ、且ツ現
ガアツタノガ分リマシタカラ、ソレニ依ツテ
サウ云フ方面ノ偽造ヲ相當取締タヤウナ
例モアリマス、其他各方面ニ於テ五十錢銀
貨ノ偽造ガ出テ参リマス、其状況ハ後程相
當纏メテ御話申上ゲタイト考ヘテ居リマス
・ソレカラ「ニッケル」貨幣ノ例ハ只今政務
次官カラ申サレタ通リデアリマス、亞米利
加ニハ「ニッケル」貨幣ハアリマセヌ、英國
英米ノ系統ニハナインデアリマスガ、ソレ
ニモ「ニッケル」貨幣ハアリマセヌ、即チ
マス、ソレカラ五錢ノ方デ一錢二厘三毛五
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ現行ノ白銅貨幣
鑄造費ハ先程申上ゲタ通リニ十錢ノ方デハ
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ「ニッケル」貨幣
ノ方デハ一錢七厘〇九デアリマス、ソレカラ
五錢ノ方デハ一錢二厘三毛五二錢八厘七毛
デアリマス、隨テ白銅貨幣ヨリモ「ニッケル」
貨幣ヲ造ツタ方ガ損ガ參リマス、即チ其鑄造
ニ依ル利益ガ減ル譯デアリマス、大體此差
ヲ申シマスルト、十錢ノ方デハ一錢一厘六
毛ダケ利益ガ減ッテ參リマス、ソレカラ五
錢ノ方デハ一錢九毛ダケ利益ガ減ッテ參
譯デアリマス、現在白銅貨幣十錢、五錢ヲ
合計シマシテ約八千五百萬圓ダケ發行致シ
テ居リマス、其八千五百萬圓ヲ十年間ニ改
鑄スル、即チ毎年八百五十萬圓ヅツ引上ゲ

ノ鑄造費ハ幾ラデアリマスカ、之ヲ承リタ
イ

ソレカラ私共ノ承知シテ居リマスル範圍
ニ於キマスルト、此「ニッケル」ト云フモノ
ハ日本デハ餘リ產出ガナイヤウデアリマス
ガ、サウシマスルト是ハ外國カラ御買ヒニ
ナルトスレバ、爲替ノ關係上非常ニ鑄造費
ガ嵩マルト云フ傾向ハナイモノデセウカ、
ガ嵩マルト云フ傾向ハナイモノデセウカ、
之ヲ御伺致シマス

○富田政府委員 今度ノ「ニッケル」貨幣ノ
鑄造費ハ先程申上ゲタ通リニ十錢ノ方デハ
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ現行ノ白銅貨幣
鑄造費ハ十錢ノ方デ一錢七厘〇九デアリ
マス、ソレカラ五錢ノ方デ一錢二厘三毛五
二錢八厘七毛、五錢ノ方デハ二錢三厘二毛
八デアリマシテ、ソレカラ「ニッケル」貨幣
ノ方デハ一錢七厘〇九デアリマス、即チ其鑄造
ニ依ル利益ガ減ル譯デアリマス、大體此差
ヲ申シマスルト、十錢ノ方デハ一錢一厘六
毛ダケ利益ガ減ッテ參リマス、ソレカラ五
錢ノ方デハ一錢九毛ダケ利益ガ減ッテ參
譯デアリマス、現在白銅貨幣十錢、五錢ヲ
合計シマシテ約八千五百萬圓ダケ發行致シ
テ居リマス、其八千五百萬圓ヲ十年間ニ改
鑄スル、即チ毎年八百五十萬圓ヅツ引上ゲ

テ新「ニッケル」貨幣ヲ造ッテ、十年間ニ全部白銅貨ヲ「ニッケル」貨幣ニ引換ヘル、斯ウ云フ豫定デアリマス、隨テ白銅貨幣ヲ潰ス方ガ「ニッケル」貨幣ヲ造ルヨリモ損ガ行クコトニナリマスカラ、ソレデ結局十年間ニハ相當程度ノ鑄造ノ損、即チ造幣局資金ト云フモノガソレダケ減ルト云フ關係ニナリマス、毎年約二百萬圓位ハ此爲ニ造幣局資金ヲ食ハレテ行クト云フ勘定ニナリマス、ソレカラ「ニッケル」ハ日本ニハ產出致シマセヌ、最近ノ新聞ニ、慥カ岐阜邊リデ何カ「ニッケル」ノ精煉所ヲ造ツタト云フ記事ガアリマシタガ、是ハ正確ナル報道ハ得テ居リマセヌ、先づ今日迄ハ日本デハ出來ナカッタノデアリマス、世界デ「ニッケル」ノ產國ハ英領加奈陀デアリマシテ、次イデ佛領ニユーカレドニヤ」デアリマス、サウ云フ處カラ輸入シテ來ルノデアリマス、今爲替ノケル「貨幣ノ鑄造費ハ現在ノ市價、即チ爲替相場ヲ織込ンダ現在ノ市價デ計算シタノデアリマシテ、今後若シ爲替相場ガ現在以下ニ下レバソレダケ生產費ハ殖エ、益金ハ減ル譯デアリマス、併シ大體爲替相場ガ現在位ノ程度デアレバ「ニッケル」貨幣ノ鑄造ニ

依ル利益ト云フモノハ先程申シタ通リデアラウト考ヘテ居リマス
○中村委員 次ニ私ハ御伺致シタノデアリマスガ、補助貨幣ノ數量調節ニ關スル方策ト申シマスカ、嘗テ大正六年ト記憶致シマスガ、補助貨幣ガ非常ニ缺乏致シマシテ、小額紙幣ト云フモノガ相當巨額ニ發行セラレテ居ル事實ヲ承知致シテ居リマス、高橋大藏大臣ノ御演説ナドヲ拜聽致シマスト、將來日本ノ經濟界ハ好轉ニナル、サウスルト取引ハ膨脹シ所謂商業ハ活潑ニナルト觀測シナケレバナラヌガ、將來、現在ノ補助貨ノ供給量ヲ以テサウ云フ膨脹セル取引ニ應ズルコトガ出來ルカドウカ、又一面補助貨ノ數量ノ過剩ト云フコトハ、國民生活アリマセヌ、先づ今日迄ハ日本銀行ニ言ツテ行キマス、日本銀行為各支店ノ狀況ヲ聞キマシテ、ソレニ依スル前ニ日本銀行ニ言ツテ行キマス、日本銀行ハ各支店ノ狀況ヲ決メテ大藏省ニ言ツテ参リマス、大藏省ハ一方ニ於テハ造幣局ノ作業能率ト云フモノヲ考ヘマシテ、詰リ日本銀行ノ意見ヲ決メテ大藏省ニ言ツテ斟酌シテ、毎年度ノ製造額ヲ決定スル譯デ本銀行ノ要求ト造幣局ノ作業能率ノ兩方ヲリマスカ、何カ大藏省内デ貨幣委員會ト云モノハ從來下ウ云フ風ニヤツテ居タノデアルカト云フ御心配ノ點ガアツタヤウデアリマスガ、現在ノ狀態デ參リマスト、造幣局ハ非常ニ作業能率ハ餘ツテ居リマス、實ハ不景氣ガ數年續イタ結果トシテ補助貨ガ段階還ツテ參リマシテ、今國庫ニモ六七千萬圓ノ補助貨ガ遊シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレハソレダケ日本銀行ニ還ツテ參リマスニ、補助貨ノ需要ノ起ルマデ持ツテ居ル譯デアリマスガ、是ハ只今仰セラレマシタ

○富田政府委員 補助貨ノ數量ノ調節ノ問題デアリマスガ、是ハ只今仰セラレマシタ
 ル貨幣委員會ハ、貨幣ノ改正デアルトカ、サウ云フコトヲ議スル機關デアリマシテ、此補助貨ノ數量問題ニハ關係シナイコトニナツテ居リマス、補助貨ノ數量ハ別ニ機械的ノ標準ガアリマシテソレニ依テ決定致シテ居ル譯デハアリマセヌ、大體市場ノ實況ニ依リマシテ、毎年度決定致シテ居リマスガ、其市場ノ實況ヲ知リマス方法ハ、日本銀行居ル譯デハアリマセヌ、大藏省證券ノ發行高ヲ殖居リマシテ、毎年度決定致シテ居リマスガ、即チ之コトハ造リマスガ、ソレヲ發行シナイデ、スノデ市場ニ流通サレマセヌ、其分ハ造ルコトハ造リマスガ、ソレヲ發行シナイデ、造幣局ノ資金デ持タシテ居リマス、即チ之ヲ發行シマスト、ソレダケ直グ益金ニナリマシテ、資金ノ增加ニナリマスケレドモ、實ハ其補助貨ト云フモノハ市場へ出マセヌカラ、國庫ニ残リマシテ、ソレダケ國庫資金ノ固定ニナリ、大藏省證券ノ發行高ヲ殖ス結果ニナリマスカラ、二年前ニ造幣局特別會計法ヲ改正致シマシテ、毎年度造ツタモノ、中デ、直グニ市場ニ出ナイモノハ資金デ持タシテ置ク、サウ云フ方法デ相當ノ補助貨ヲ國庫ナリ或ハ資金部デ持ツテ居リマスカラ、景氣ガ好クナツテ、兌換券モ膨脹シ、補助貨ノ需要ガ殖エマシテモ、補助貨ノ供給ニハ今困ラヌヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ餘リマスト、ソレハソレダケ日本銀行ニ還ツテ參リマスカラ、更ニソレハ日本銀行カラ國庫ノ方ニ還シテ貰ヒマスカラ、ソレダケハ國庫デ更

方ニ於テ造幣局ト云フ機關ガアリ、相當ノ職工モ居リマスカラ、或ル程度ノ仕事ヲシナケレバ、作業能率ノ點カラ言ツテモ差支ガアリマスカラ、最低限度ニ於テ毎年造ツテ居リマスガ、ソレモ中ミ不景氣ガ續キマスノデ市場ニ流通サレマセヌ、其分ハ造ルコトハ造リマスガ、ソレヲ發行シナイデ、造幣局ノ資金デ持タシテ居リマスガ、即チ之ヲ發行シマスト、ソレダケ直グ益金ニナリマシテ、資金ノ增加ニナリマスケレドモ、實ハ其補助貨ト云フモノハ市場へ出マセヌカラ、國庫ニ残リマシテ、ソレダケ國庫資金ノ固定ニナリ、大藏省證券ノ發行高ヲ殖ス結果ニナリマスカラ、二年前ニ造幣局特別會計法ヲ改正致シマシテ、毎年度造ツタモノ、中デ、直グニ市場ニ出ナイモノハ資金デ持タシテ置ク、サウ云フ方法デ相當ノ補助貨ヲ國庫ナリ或ハ資金部デ持ツテ居リマスカラ、景氣ガ好クナツテ、兌換券モ膨脹シ、補助貨ノ需要ガ殖エマシテモ、補助貨ノ供給ニハ今困ラヌヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ餘リマスト、ソレハソレダケ日本銀行ニ還ツテ參リマスカラ、更ニソレハ日本銀行カラ國庫ノ方ニ還シテ貰ヒマスカラ、ソレダケハ國庫デ更

デアリマス、持ツテ居ルト云フコトハ、即チ國庫金ノ固定ニナリマス、ソレダケ大藏省證券發行高ヲ結局殖スト云フコトニナルノデアリマス、大體補助貨ノ調節ハ以上申上ゲタヤウナ實際ノ効キデヤッテ居ル譯デアリマス

○中村委員 私ハ補助貨ノ鑄潰シノ問題ニ付テモウ一ツ聽イテ見タイ、今金再禁止デゴザイマスカラ、金貨ノ鑄潰シヤ何カ省令デ禁止シテ居ラレルヤウデアリマスガ、補助貨ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、白銅貨トカ「ニッケル」トカ、是モ矢張省令デ鑄潰シ禁止ト云フコトニナツテ居リマスカ

○富田政府委員 現在ハ金貨幣ノ鑄潰費消ハ省令デ禁止シテ居リマスガ、ソレ以外ノ銀貨幣ナリ補助貨ノ鑄潰ハ別ニ禁止シテ居リマセヌ、是ハ鑄潰スコトニ依テ現在ハ非常ニ損ガ参リマスカラ、サウ云フ虞モアリマセヌノデ、別ニ罰則ヲ設ケテ之ヲ禁止スルト云フコトハ致シテ居リマセヌ、金貨幣ダケハ是ハ輸出禁止ノ關係デ鑄潰費消ヲ禁止シテ居リマス

○中村委員 ソコデ私ハ政府委員ニ御尋ンタイノデアリマスガ、所謂世間デヤカマシク言ハレル「インフレーション」デ行ツテ居ラレマスガ、「インフレーション」ニナリマス

スルト、所謂金屬類ノ市場價格ト云フモノ

ハ高クナルト解釋シナケレバナラヌ、現ニ此間ノ委員會ニ於テ、理財局長ノ御説明ノ如ク、金ノ如キハ貨幣法ニ依ル法定價格ノ五圓ノ倍位シテ居ルト云フコトデアリマス、サウナリマスルト、現在ノ「インフレー

ション」ト云フモノハ益々本格的ニ進行スルモノト見ナケレバナラヌ、此「インフレーション」ガ極度ニ達シテ來マスレバ、益々世界ト云フモノハ金屬ニ對スル尊重ノ念ヲ深ク致シマシテ、補助貨デモ所謂蓄藏スルヤウナ風習ニナツテ來ルト思フ、獨逸ノ大「インフレーション」時代ヲ見マシテモ「アルミニウーム」ノ金ガ出來タリ、或ハ陶器ノ金ガ

出來タリシタ、現ニ此間ノ新聞ヲ見マスルト、谷中天王寺ノ銅像ノ膝ヲ盜ツテ行ツタ

云フヤウナ、斯ウ云フ犯罪ガ今後私ハ「インフレーション」ノ極度ノ展開ニ依テ現レ

シタ、又實際ニ鑄潰サレテ銀貨ノ供給ガ非

常ニ減ツタノデアリマス、ソレデ銀貨幣ノ鑄

潰モ禁止スル省令ヲ出シタノデアリマス、併シ其後銀價ノ暴落ニ依テ、今例ヘバ銀貨

ヲ潰スニシテモ、五十錢潰セバ十何錢ノ値打シカアリマセヌカラ、三十幾錢ノ損ガ行

ク、ソレデ現在ハ銀貨ヲ潰ス者ハアリマセ

スカラ、隨テ其銀貨鑄潰ノ禁止ノ省令ヲ廢止致シタノデアリマス、ソレカラ「ニッケル」

ニ付キマシテモ先程申上ゲマシタヤウニ、

十錢ノ「ニッケル」貨幣ハ地金ハ二錢内外、一

メテ居ルモノト思ヒマスガ、今後「ニッケル」

或ハ鐵砲ノ彈トカ、軍艦製造ニ相當ナ地位ヲ占

居リ、軍需工業品トシテハ相當ナ地位ヲ占

メテ居ルモノト思ヒマスガ、今後「ニッケル」

マセウカ、此點一ツ御示シヲ願ヒタイ

○富田政府委員 只今ノ御懸念ニ付テハ或種ノ貨幣ニ付テハ御尤デアリマス、即チ金

貨ハ今鑄潰セバ二倍以上ノ價格ガアルノデアリマスカラ、是ハ鑄潰サレル危險ガ非常

ニアルノデアリマス、ソレデ省令デ鑄潰ヲ

禁止シテ居ル譯デアリマス、他ノ銀貨以下

ノ補助貨ト云フモノハ、是ハ現在ニ於テハ

サウ云フ懸念ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、即チ數年前ニ銀ノ相場ガ非常ニ上タ

場合ニハ、銀貨モ鑄潰サレル危險ガアリマ

シタ、又實際ニ鑄潰サレテ銀貨ノ供給ガ非

常ニ減ツタノデアリマス、ソレデ銀貨幣ノ鑄

潰モ禁止スル省令ヲ出シタノデアリマス、

併シ其後銀價ノ暴落ニ依テ、今例ヘバ銀貨

ヲ潰スニシテモ、五十錢潰セバ十何錢ノ値打シカアリマセヌカラ、三十幾錢ノ損ガ行

ク、ソレデ現在ハ銀貨ヲ潰ス者ハアリマセ

スカラ、隨テ其銀貨鑄潰ノ禁止ノ省令ヲ廢

止致シタノデアリマス、ソレカラ「ニッケル」

ニ付キマシテモ先程申上ゲマシタヤウニ、

十錢ノ「ニッケル」貨幣ハ地金ハ二錢内外、一

メテ居ルモノト思ヒマスガ、今後「ニッケル」

或ハ鐵砲ノ彈トカ、軍艦製造ニ相當ナ地位ヲ占

居リ、軍需工業品トシテハ相當ナ地位ヲ占

貨幣法ニハ規定シテアリマスケレドモ、鑄造ハシナカツタノデアリマス、今ノ二十錢、二十五錢ノ貨幣モ、是ハ貨幣委員會ニ於テ補助貨ノ改正ヲ議スル場合ニ何時モ問題ニハナリマスガ、二十五錢ノ貨幣ヲ造ルノハ相當反對論ガアリ、今日迄決定シテ居リマセヌ、是ハドウセ其内ニ銀貨ノ改正問題ガ起ルト思ヒマスガ、其時ニ研究サルベキモノトシテ残ツテ居ル譯デアリマス

○中村委員 最後ニ結論的ニ政務次官ニ御伺シタイト思ヒマスガ、只今理財局長ノ御説明ニ依リマスト、「ニッケル」ノ鑄造費ト云フモノハ白銅貨ヨリモ高イ、ソレカラ各國ニ採用サレル傾向ガアルト云フコトデゴザイマスガ、御説明ニ依ルト一流ノ文明國ニハ——英米邊リニハナイヤウニ思ハレル、之ヲ今日本デ「ニッケル」貨幣ヲ拵ヘルト云フコトハ、單ニ造幣局ノ造幣技術ガ進歩シタニ依テ之ヲ鑄造シ得ルト云フダケデ御拵案ト云フモノガ緊急」ムヲ得ナイノデゴザ國家的ノ立場カラ云ツテ斯ウ云フ改正法律イマセウカ、此立場ヲ私共ニ諒解出來ルヤウニ御説明ヲ願ヒマス

○壇切政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、國家的立場ヨリ必要已ムヲ得ザルモノト認メテ決心致シタ次第デアリマス、其理由ハ先程御質問ノ御言葉ノ中ニ十分御諒解ニナツテ居ルコト、諒解致シマスカラ、申上ゲナイコトニ致シマス

○中村委員 私モ存ジテ居リマス、唯政府委員ニ確メタイ爲メデゴザイマスカラ、是レ以上ハ申上ゲマセヌ、私ノ貨幣法中改正法律案ニ對スル質問ハ是デ終了ト致シマス

○高見委員 今ノ「ニッケル」ノ話デスガ、一年ニ八百五十萬圓、十年ニ八千五百萬圓要ルト云フコトデゴザイマス、軍事上ノ關係モアリマセウ、此間軍部ノ當局ニ付テ一旦緩急アル場合一番困ルノハ何カト云フト、「ニッケル」ダ、「ニッケル」ト云フモノハ非常ニ軍事上困リマス、日本デ精煉ヲヤッタラドウカト云フ話ヲシタ所ガ、ヤレヌコトハナイケレドモ、電力ガ非常ニ要ル、電力ガ廉クナケレバナラヌト云フヤウナコトヲシタナラバ、此間モ私ハ大藏大臣ニ質問シテ、將來ノ經濟對策ノ中ニ電力國營ト云フヤウナコトヲ考ヘテ、非常ニ電力ヲ廉ク統一シタラドウカト云フコトヲ聞キマシタ所

ガ、趣意トシテ賛成デアルト云フコトヲ藏相モ御答ニナツタ、將來ノ軍事關係ノ上ニ於キマシテ「ニッケル」ガ非常ニ必要デアルナモ出シテ、サウシテ八千五百萬圓——一億以上モ地金ガ要ルノデアルトスレバ、其他ノ軍事上ノ關係モ御考ニナツテ、サウシテ「ニッケル」精煉ニ關スル何等カノ御計畫ヲ大藏當局ハ御考ニナラナイカドウカ、其邊ノコトデ軍部トノ間ニ何カ御考ガナイカ、ドウカト云フコトヲ聞イテ見タイト思ヒマス

○高見委員 商工省ノ委員ヲ呼ンデ來イナドト仰シヤラヌデモ、兎ニ角吾ニモ議員トシテ經濟上ノ關係モ、軍事上ノ關係モ何モ彼モ國民ノ爲ニ心配シテ聞イテ居ルノデアリマス、軍部ノ話ニ依レバ、一旦緩急アル場合ニ一番缺乏スル物ハ何デアルカト云フト、「ニッケル」デアル、日露戰爭當時ト今日トハ非常ニ違フ、アノ當時ハ軍艦ヲ造ルニハ非常ニ澤山ノ機械ヲ外カラ買ハナケレバナラヌト云フノデ、國外ニ支拂フ金ガ多カツタガ、今度ハ非常ニ日本ノ國內工業ガ發展シテ、一旦緩急アル時モ大部分ノ品物ハ國内デ間ニ合フ、併シ「ニッケル」ダケハ非常ニ困ツタモノデアルト云フコトヲ軍部當局ガ繰返シ／＼言ツテ居ル、ソレナラバ「ニッケル」ト云フモノハ國內デ出來ナイカト言ヘバ、出來ルケレドモ、精煉ニ豐富ナ電力ト低廉ナ電力ヲ要スル、所ガ此電力ハ國ニ依リ處ニ依リ非常ニ豐富ナ電力ヲ有ツテ居所モアリ、又資本ガ無クテ電力ヲ起サレナイ所モアル、或所ニ於テハ電力ガ缺乏シテ非常ニ高イ電力ヲ使ツテ居ル所モアル、即チ所デハ非常ニ廉イ所モアル、ダカラ何カ茲工事費ガ非常ニ高クナツテ居ルト云フヤウナ所カラ、或所デハ非常ニ高クナリ、又或シテ經濟上ノ關係モ、軍事上ノ關係モ何モシテ國民ノ爲ニ心配シテ聞イテ居ルノデアリマス、軍部ノ話ニ依レバ、一旦緩急アル場合ニ一番缺乏スル物ハ何デアルカト云フト、「ニッケル」デアル、日露戰爭當時ト今日トハ非常ニ違フ、アノ當時ハ軍艦ヲ造ルニハ非常ニ澤山ノ機械ヲ外カラ買ハナケレバナラヌト云フノデ、國外ニ支拂フ金ガ多カツタガ、今度ハ非常ニ日本ノ國內工業ガ發展シテ、一旦緩急アル時モ大部分ノ品物ハ國内デ間ニ合フ、併シ「ニッケル」ダケハ非常ニ困ツタモノデアルト云フコトヲ軍部當局ガ繰返シ／＼言ツテ居ル、ソレナラバ「ニッケル」ト云フモノハ國內デ出來ナイカト言ヘバ、出來ルケレドモ、精煉ニ豐富ナ電力ト低廉ナ電力ヲ要スル、所ガ此電力ハ國ニ依リ處ニ依リ非常ニ豐富ナ電力ヲ有ツテ居所モアリ、又資本ガ無クテ電力ヲ起サレナイ所モアル、或所ニ於テハ電力ガ缺乏シテ非常ニ高イ電力ヲ使ツテ居ル所モアル、即チ所デハ非常ニ廉イ所モアル、ダカラ何カ茲工事費ガ非常ニ高クナツテ居ルト云フヤウナ所カラ、或所デハ非常ニ高クナリ、又或

ニ國策ヲ統一シテ動力ヲ廉クスル途ヲ講ジ
タラ宜カラウト云フコトヲ、私カラ藏相ニ
モ申上ゲテ置イタノデアリマス、兎ニ角今
此場合之ヲ結ビ付ケルト云フヤウナコト
ハ、大變話ガ飛離レテ居リマスケレドモ、
先ヅ「ニッケル」貨幣ヲ製造スレバ、一年ニ
八百五六十萬圓モ「ニッケル」ヲ使フ、一方
ニ於テ軍部ノ方デハ非常ニ「ニッケル」ニ缺
乏シテ頭ヲ惱シテ居ルト云フ有様デアリマ
スカラ、商工省ノ人ヲ連レテ來ナイデモ、
大藏當局トシテ「ニッケル」貨幣ヲ製造スレ
バ、商工省ガ製造スルノデハナイ、貨幣ヲ
製造スルノハ大藏省デアリマスカラ、其位
ニ思ヒマスガ、何カサウ云フコトニ付テ御
考ニナリマセヌカ

○堀切政府委員 直接ニ答辯セヨト云フ御
要求デアリマスガ、只今ノ所デハマダ必要
ダケノモノハ、今之ヲ獎勵シテヤリマシテ
モ、國內デ必要ナ分量ヲ生産出來ルト云フ
見込ガ立タナノデアリマス

○高見委員 最後ニ是ハ議論ニナリマス
ガ、兎ニ角軍部ナドデハ非常ニ澤山ノ「ニッ
ケル」ガ要ルト云フコトデアリマシテ、斯
ウ云フ時ニハ政府ハ何カノ機會ニ於テ、相
當ニ對スル所ノ考ヲ定メテ、サウシテ軍

○金光委員長 次ニ質問ノ通告順ニ依テ許
シマス——武田君

○武田委員 私ハ大藏大臣ト拓務大臣ニ御
尋シタイコトガ大分アルノデアリマスガ、
今御出デガアリマセヌカラ、政務次官カラ
伺ツテ宜イ程度ノ事ダケヲ御伺致シタイト
思ヒマス

先ヅ拓務省ノ方面カラ伺ヒタイ、先頃
高見君ノ質問ニ對シテ、拓務大臣ハ、朝鮮
ノ產米、土地改良ニ補助ヲスルト云フコト
ヲ提案ニナシテ居リマスガ、今日ハ米ガ多過
ギテ困ツテ居ル際デアルカラ、土地改良ニ補
助マデヤッテ產米ノ増殖ヲ圖ルコトノ必要
ハナイデハナイカト云フ質問ニ對シテ、拓
務大臣ハ、ソレハ一應ハサウ考ヘテ居ル
ガ、從來ノ計畫ヲ俄ニ變更スルコトハ困難
デアルカラ、今度ノ場合ハ最小限度ノ増殖
計畫ニ對スル土地改良ノ補助費デアル、斯
ウ單純ニ御答辯ニナツタノデス、私ハソレニ
リマセヌガ、一面ニ於テ生産ハ或程度マデ
制限スルト云フコトハ、當然行ハナケレバ
ナラヌ事柄デアラウト思フノデアリマス、
然ラバ朝鮮總督府ト致シマシテ、更ニ一度
立ツタ計畫デアルカラ、構ハズソレヲ遂行シ
ナケレバナラヌト云フヤウナ、サウ杓子定
規ナ意見ヲ執ラズシテ、何カソレニ適當ナ
ル生産制限ノ方策ヲ執ラル、コトガ寧ロ順

部ニ御相談ニナツタラ宜カラウ、是ダケ申シ
テ置キマス

○金光委員長 次ニ質問ノ通告順ニ依テ許
シマス——武田君

○武田委員 私ハ大藏大臣ト拓務大臣ニ御
尋シタイコトガ大分アルノデアリマスガ、
今御出デガアリマセヌカラ、政務次官カラ
伺ツテ宜イ程度ノ事ダケヲ御伺致シタイト
思ヒマス

先ヅ拓務省ノ方面カラ伺ヒタイ、先頃
高見君ノ質問ニ對シテ、拓務大臣ハ、朝鮮
ノ產米、土地改良ニ補助ヲスルト云フコト
ヲ提案ニナシテ居リマスガ、今日ハ米ガ多過
ギテ困ツテ居ル際デアルカラ、土地改良ニ補
助マデヤッテ產米ノ増殖ヲ圖ルコトノ必要
ハナイデハナイカト云フ質問ニ對シテ、拓
務大臣ハ、ソレハ一應ハサウ考ヘテ居ル
ガ、從來ノ計畫ヲ俄ニ變更スルコトハ困難
デアルカラ、今度ノ場合ハ最小限度ノ増殖
計畫ニ對スル土地改良ノ補助費デアル、斯
ウ單純ニ御答辯ニナツタノデス、私ハソレニ
リマセヌガ、一面ニ於テ生産ハ或程度マデ
制限スルト云フコトハ、當然行ハナケレバ
ナラヌ事柄デアラウト思フノデアリマス、
然ラバ朝鮮總督府ト致シマシテ、更ニ一度
立ツタ計畫デアルカラ、構ハズソレヲ遂行シ
ナケレバナラヌト云フヤウナ、サウ杓子定
規ナ意見ヲ執ラズシテ、何カソレニ適當ナ
ル生産制限ノ方策ヲ執ラル、コトガ寧ロ順

法案ガ出ルサウデアリマスケレドモ、吾ニ
ノ見ル所デハ、新聞ニ傳ヘラレテ居ルヤウ
ニ又國家ハ尠カラヌ損害ヲ將來ニ負擔スル
危険ガ十分アルヤウニ思ハレルノデアリマ
ス、左様ナ場合ニ於テ、而シテ日本ノ米價
ノ統制ガ何ノ爲ニ困難デアルカト云ヘバ、
是ハ事ニシク私ガ申上ゲル迄モナク、内地
ニ於ケル米ハ、如何ナル場合ニデモ内地ノ
需要ニ足ラヌコトハ御承知ノ通リデアリマ
ス、ソレデ朝鮮米臺灣米ニ壓迫サレルコト
ハ、一番困難ナコトデアリマスカラ、其朝
鮮米ヲドウ云フ工合ニ調節スルカト云フコ
トガ、今一番主要ナル問題トシテ、有ユル
方面ニ於テ議論ヲ重ネラレテ居ルヤウニ思
ヒマスカラ、色ニナ手段ヲ執ラナケレバナ
リマセヌガ、一面ニ於テ生産ハ或程度マデ
制限スルト云フコトハ、當然行ハナケレバ
ナラヌ事柄デアラウト思フノデアリマス、
然ラバ朝鮮總督府ト致シマシテ、其計畫
ニ從ツテ出來テ來タモノヲ、俄ニ其計畫者
ニ中止ヲサス譯ニハ行カヌノデアリマス
ガ、現在ハ米ハ寧ロ多ク出來過ギルト云フ
コトガ一つノ政治問題ニナツテ居ルノデア
リマスカラ、ソコハ微妙ニ幾分ノ手心ヲシ

テ行ク、拓務大臣モ其趣旨デ答辯セラレタ

コト、察スルノデアリマスガ、兎ニ角現今

ハ國際的ニモ、一ツノ所謂「ブロック」ト云

フモノデ、各自國家ガ自分ノ勢力ノ行届ク

範圍内ニ於テ、總テノ物ヲ自給自足シテ調

節スルト云フノガ世界的ノ大勢ニナッテ居

ルノデアリマスカラ、其意味カラ申シマス

ト云フト、棉花ナドハ最モ不足シテ居ル、

成ベクサウ云フ不足シテ居ル物ヲ獎勵シテ

行クト云フ風ニ指導スルノモ、是ハ必要ダ

ラウト思ヒマス、米ヲ作ルト云フコトヲ出

來ルダケ少クシテ、不足シテ居ル物ノ方ヘ

向ケテ行クト云フノガ大體ノ方針デアリマ

ス、左様御承知願ヒマス

○武田委員 然ラバ斯ウ云フコトニ承知シ

テ宜イノデゴザイマスカ、最小限度ノ計

畫ト云フノハ、米穀ノ増殖ニ對スル土地改

良ノ補助費ト云フモノハ、補助ヲ一旦許可

ラシテ、例ヘバ二年計畫、三年計畫ノ補助

ニ對シテ補助ノ指令ヲ受ケテ居ル、ソレダ

ケノモノヲ補助スル、新シイ計畫ニハ補助

スルト云フコトハ此中ニ入ヅテ居ラヌ、斯ウ

云フ風ニ解釋シテ宜シカ、モウ一つハ從

來米穀ノ増殖ノ意味ニ於テノ土地改良ニ補

助ヲ與ヘタモノヲ、今申上ゲルヤウナ、既ニ

補助ノ指令ノアツタ限度ニ留メテ置イテ、其

餘ノモノヲ棉花ノ栽培ナドニ補助スルト云

フ意味デアル、斯様ニ諒解シテ宜イノデア

リマスカ、ドウデスカ

○堤政府委員 ソレハ當局トシテ大體サウ

云フ心持デヤツテ行キタイト云フ方針ヲ申

上ゲタノデアリマシテ、詳細ノ事務的ノ點

ニナリマスレバ、寧ロ朝鮮ノ當局者ノ方カ

ラ御説明申シタ方ガ便利ト考ヘマス

○今井田政府委員 八年度ニ於キマシテ新

規ノモノヲ申上ゲマスレバ、大體ニ於キマ

シテ只今仰セノ補助ノ指令ヲ出シタモノガ

大部分デアリマス、其他多少從來許可シタ

ヤウナ事業ノ設計調査ヲ致シマシテ、必要

ト認メタモノデ、行懸リ上已ムヲ得ナイモ

ノ、左様ナモノハ極ク小部分デアリマス、

大部分ハ補助ノ指令ヲ出シタモノダケニ止

マル、斯様ナ方針デ進ンデ居リマス

尙ホ將來ニケル生産ノ制限ニ付キマシ

テハ、過般農林省ノ米穀委員會ニ於キマシ

テモ、將來ノ生産制限ニ對シテ、內地外地

テ相當ノ對策ヲ講ズルガ宜カラウ、斯様ナ

リマシタナラバ伺ヒタイ

○武田委員 全體ノ計畫ハ私モ承知シテ居

ルノデアリマスガ、只今御許可ニナッテ居

タル、斯様ナ方針デ進ンデ居リマス

マシタ場合ニハドノ位增收ニナリマスカト

云フコトヲ伺フノデアリマス、御分リニナ

ラナケレバ宜シイノデアリマスガ、極ク大

雜把デ宜シイノデアリマスガ、御分リニナ

ウニ思フノデアリマス、ソレハドウモ内地ノ

米ガ足リナイ、サウスルト段々朝鮮米ヲ移

入シテ、鮮人ハ滿洲カラ粟ヲ持ッテ來テ粟

ヲ食シテ居ル、サウシテ今度ハ米ガ餘ッテ來

ル、サウスルト何トカシテ朝鮮米ヲ制限シ

ナケレバイカヌ、ソレガドウモ今ヤ等シク

内鮮共ニ陛下ノ赤子トシテ政治ノ大方針ヲ

立テ、居ル上カラ、サウ云フコトガ露骨ニ

論議サレルト云フコトハ政治上下ンナモノ

デアリマセウカ、殊ニ本會議ニ於テモ朴春

琴君ノ是等ノ意味ニ關スル質問ニ對シテ拓

務大臣ハ一君萬民ノ大義ニ於テ決シテ内地

朝鮮ヲ區別スルモノデナイト云フ意味ノ答

辯ガアツタノデアリマスガ、制限スルナラバ
内地朝鮮共ニ調査シ考慮シテヤルナラバ宜
シイガ、内地ノ米ガ餘ツテ居ルカラ、朝鮮ダ
ケヲ制限シヨウト云フヤウナコトハ、議會
ニ於テ露骨ニ論議スベキモノデアルカドウ
カ、私ハ斯様ニ考ヘテ居ル、併ナガラ是ハ
實際問題トシテ餘程色ミナムヅカシイ意味
ヲ含ンデ居ルト思ヒマスガ、唯其参考ノ爲
ニ満洲カラドノ位粟ガ入ツテ、鮮人ノ米作ニ
對スル計畫ハドウダト云フコトヽ、今一ツ
御尋フシテ置キマスガ、若シ米ガ過剩ニ生
産サレテ、ソレヲ考慮スルト云フナラバ、
朝鮮ダケヲ考慮スルト云フコトヲハッキリ
答辯サレルノデアルカドウカ、其點ヲ一ツ
承リタイノデアリマス

ニハ土地ガ適シテ居ルシ、又產米増殖計畫ト云フモノヲ特ニ立テタノデアリマスカラ、其氣持テ申シタノデアリマシテ、朝鮮ヲ内地ト區別シテ考ヘテ居ルノデハアリマセヌ、二位一體ノ經濟「ブロツク」ト云フ見地カラ申シテ居ルノデアリマス、其邊ハ誤解ナキヤウ御諒承ヲ願ヒマス

○今井田政府委員 現在ノ產米増殖計畫ハ
穀ガ一石十二三圓位ノ相場ハスルモノトシ
テ收支計算ナドモ作ッタモノガアッタヤウデ
アリマス、其後只今仰セノ通リ米價ガ下落シ
マシタ爲水利組合ノ經濟ハ非常ニ苦シクナ
ツテ居リマス、之ニ對シテ有ユル手段ヲ以

關係ノ無イモノト有ルモノトアリマスケレ
ドモ、朝鮮銀行ニ關係シテ伺ッテ置キタイ
ノデアリマスガ、貨幣制度ヲ如何ニスルカ
ト云フコトハ、日本ト滿洲ノ經濟「ブロック」
ト云ファウナ關係カラモ、亦貿易關係ヲ促
進スルト云フ上カラモ、日本ノ滿洲ニ對ス
ル投資、其他滿洲事件費ノ爲ニ澤山ノ金ヲ

○今井田政府委員 粟ノ滿洲カラノ移入數
量ハ年ニ依ツテ勿論差ハアリマスガ、平均シ
マシテ大體三億二千萬斤、石數ニ直シテ百
四五十萬石ト云フコトニナツテ居リマス、ソ
レカラ朝鮮内ニ於ケル米ノ消費量デアリマ
スガ、一人當リノ消費量ヲ見マスルノニ、最
近ニ於キマシテ極ク少量デハアリマスガ、
減ジテ居ルヤウナ統計ガ現ハレテ居リマス
○前田委員 私ハ此間朝鮮土地改良事業ノ
過去三年ノ實績、今後三年ノ豫想統計ヲ求
メタノデアリマシテ其書類ガマダ參ツテ居リ
マセヌガ、此機會ニソレニ關聯シテ御尋申
上ゲマス、從來朝鮮ノ土地改良事業ハ實績
カラ見マスト、米價ガ安いガ爲ニ收支ノ償
ハナイ土地ガ多カラウト思ヒマス、ソコデ
御尋致シマスノハ、今後朝鮮米ノ價格ハ幾
ラ程デアルナラバ、大體ニ於テ朝鮮ノ土地
改良事業ハ收支ガ償フダケノ見込ガ立チマ
スカ、若シ分ツテ居リマスレバ此際承リタ

チマンテ救濟ノ方法ヲ一昨年來執ツテ居マス、現在ノ經理状況カラ申シマスレバ鄰ハ一石八圓デアリマスガ、ソレ以上ノ相場ヲ持続スルナラバ、水利組合ノ現狀ハ大體ニ於テ收支相償フト云フコトニナツテ居リマス、勿論成績ノ良好ナモノト不良ナモノハトアリマスカラ、極ク少數ノ不良ナモノハ八圓デモ收支計算ガ償ハナイモノモアリマスガ、併シ大體ニ於テ八圓以上ニナリマスレバ收支相償フ、斯様ニナツテ居ルノデアリマス

使フト云フ上ニ於キマシテモ、是ハ頗ル重
大ナ關係ガアルト思フノデアリマス、ソレ
ガ今日實際ノ貨幣ノ通用ノ關係ガドウナツ
テ居リマスカ、又朝鮮總督府ト致サレマシ
テモ將來ソレヲドウ云フ工合ニ整理シテ行
クト云フ御見込デアリマスカ、實ハ滿洲ノ
貨幣制度ノ全體ノコトニ付テ拓務大臣ニ承
リタイト思ツテ居リマスガ、大臣ガ御出デニ
ナリマセヌカラ、其事實上ノ關係ダケヲ承ツ
テ置キタイト思ヒマス、若シ政務次官ニ於
カレマシテ、滿洲ノ貨幣制度ヲ將來斯ウ云
フ工合ニシタイト云フヤウナ政策的ノ御見
込ガ立ツテ居リマスルモノナラバ、ソレヲ伺
ヘレバ非常ニ仕合ト思フノデアリマス、私
共ノ考カラシマスト、勿論滿洲ノ貨幣制度
ハ昨年漸ク立ツタケデアリマスカラ、直チ
ニ之ヲ變更スルト云フコトハ時期モ勿論専
早デアリ、色ニノ政策的ノ考慮ヲ要シマセ
ウケレドモ、是ハ我國トノ關係上極メテ重

第六類第一號 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費 二 關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄

私見ニ依リマスレバ、今日ノ場合ニ於テ金爲替本位制ニシテ、ソレデ總テヲ整理統制シタ方ガ一番簡便ナヤウニ考ヘルノデアリマス、兎モ角事實上ノ關係ハ現在ドウ云フ風ニナシテ居ルカ、少クトモ朝鮮銀行ノ金兌換券ニ關シテハ將來ドウ云フ工合ニスル積リカト云フコトダケヲ一つ承リタイノデアリマス

○堤政府委員 満洲ノ貨幣制度ノ事ヲ拓務省カラ彼此レ申スノハ少シ遠慮シタ方ガ宜カラウカト思フノデアリマスガ、併シ今武田委員ノ御説ノ金本位デ行クコトガ理想ダト云フコトハ、私モサウダト思ヒマス、臺灣ガ最初銀本位デ、銀デナケレバ不便ダト云フノデ、銀建ニシテ居ツタノガ何時ノ間ニカ金建ニ變ラテモ宜イヤウニ自然ノ過程ヲ經テ金建ニナシテ來タ、ソコデ日本ト滿洲トノ關係ガ更ニ一層親密ニナリ、又其住民ノ特殊ノ銀ト云フモノニ對シテノ考ガ變ッテ參リマスル時ヲ待ツテ其理想ニ進ムト云フコトガ宜クハナカラウカト思フ、朝鮮銀行ノ兌換券流通ノ實際ノ狀況ナドハ朝鮮ノ財務當局カラ御説明申上ゲマス

○林政府委員 朝鮮銀行券ノ發行高ハ昭和七年九月末現在デ總計ガ八千二百二十餘萬

○武田委員 只今堤政務次官ノ御話デアリ
マシタガ、満洲ノ貨幣制度ノ事ニ付テハ直
接法案ニ關係ガ無イコトデモアリマスシ、
又はハ政策上ノ重大問題デアリマスカラ、
私ハ此上御聽キ申シマセヌ、併シ私ノ今伺ッ
タノハ金貨本位ト云フコトヲ申シタ譯デハ
ナイノデアリマス、金爲替本位ニシタ方ガ
宜イデハナイカト云フコトヲ申シタノデア
リマス、成程支那人ガ銀ニ愛著ヲ有ツテ居
ルト云フコトハ著シイ事デアリマスカラ、
直ニ銀本位ヲ廢マルト云フコトハ勿論出來
ナイコトデアリマス、併ナガラ金爲替本位ニ
シテ置キマスナラバ、銀貨幣ヲ總テ引上ゲ
ルト云フノデモナイノデアリマスカラ、今
御話ノヤウナ御心配ハアルマイト思フノデ
アリマス、併シマアソレ等ノ問題ハ事重大
デアリマスカラ、拓務大臣ノ御出デニナツ
タ時ニ一ツ尙ホ能ク重ネテ伺フコトニ致シ
マス——朝鮮ノ金兌換券ノ數量ニ付テハ承
知致シマシタ、唯現在是ハ關東州ダケニ通
用シテ居ルカ、又通用ノ區域ハドノ方面ニ
千二百二十餘萬圓デアリマス、殘リノ約三
千萬圓ガ朝鮮外ノ發行高デアリマシテ、大
部分ハ是ハ滿洲ダト考ヘテ居リマス

カ、同ジク正金銀行ノ金兌換券モ通用シ
テ居リ、満洲ノ中央銀行ノ金兌換券モ勿論
通用シテ居リマス、サウ云フ風ナ各種ノモ
ノガ難然トシテ居ルト云フコトハ、非常ナ
不便ナコトデハナイカト思フノデアリマス
ガ、今日ノ實際ハドウ云フコトニナッテ居
リマスカ、又ソレヲドウ云フ工合ニ整理爲
サル積リカト云フコトヲ承リタイノデアリ
マス

○林政府委員 大部分ハ内地人ト考ヘテ居リマスカ、又支那人ノ間ニ於テモ通用シテ居ルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス
リマスガ、支那人モ時ニ金券ノ方ヲ却テ便宜トスルヤウナ場合ガアリマスノデ、之ヲ使ツテ居ルト承知致シテ居リマス

○武田委員 此滿洲事件費ニ關スル經費ヲ満洲國內ニ於テ支拂フスル場合ニハ、朝鮮銀行ノ兌換券ヲ利用シテ居ルト云フヤウナ事實ガアリマスカドウデアリマスカ、サウシテ朝鮮銀行ノ金兌換券ト正金銀行ノ金券ト、満洲國ノ中央銀行ノ金兌換券トノ關係ハ、是ハ何カ其日々ニ取引ニ依テ市價ヲ決メルヤウナ實際ニナツテ居リマスカ、其實情是ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、其實情ヲ一ツ承ツテ見タイ

○林政府委員 實際ノ狀況ハ滿洲ニアリマス各銀行ニ金勘定ト銀勘定ヲ持ツテ居リマスシテ、サウシテ相互ノ間ニ決済ハ其時ノ爲替相場ニ依テ銀行デ整理ヲシテ居ルヤウニシテ、私ハ承ツテ居リマス

○武田委員 是ハマアソレ以上ノ事ヲ餘リヤカマシク申上ゲテモ御迷惑ト存ジマスカラ差控ヘマス、何レ拓務大臣ノ御出デノ時ニ重ネテ其點ニ付テ御伺スルコトニシテ、

此質問ハ保留致シテ置キマス

ソレカラモウ一つ簡単ナ事ヲ伺ッテ置キ

タイノデアリマスガ、先日ノ本委員會ニ於

テノ御答辯ノ中ニ、朝鮮ノ產金ノ買上ハ七

圓幾ラト云フヤウナ御答辯ニ承ッタノデア

リマスガ、内地デハ九圓五十何錢カ、十圓

近クデ買上ゲテ居リマスガ、朝鮮ト内地ト、

其買上値段ヲ變ヘテ居ラレルト云フノハド

ウ云フ事情デアリマスカ、承レバ朝鮮ノ產

金ガ種々ナル手段デ外ヘ密輸出サレテ居ル

サウデアリマスガ、ソレ等ハ餘り安ク御買

上ニナルコトガ原因シテ居ルノデハアリマ

セヌカ、ドウ云フ譯デ安ク御買上ニナルノ

カ、サウンテ密輸出ヲドウ云フ風ニシテ御

防ギニナルヤウナ御手段ニナツテ居ルノカ、

其點ヲ一寸承リタイノデアリマス

○林政府委員 朝鮮ニ於キマスル金ノ買上

値段ハ内地ト同様デアリマス、若シサウ云

フ事實ガアルト致シマシタナラバ、ソレハ

政府ノ買上値段デナシニ、何カ他ノ一般商

人ノ買上値段ノコトデヤナイカト考ヘマ

○武田委員 私ハ先達政府委員カラ確カサ

ウ云フコトヲ承ッタヤウニ記憶シテ居リマ

スガ、併シソレガ過チデアレバ結構デアリ

マス、今申上ゲタ密輸出ヲ防遏スル方法ヲ

何カ御採リニナツテ居リマスカ、ドウデアリ

マスカ其點ヲ序ニ一寸伺ヒタイノデアリマ

ス

○林政府委員 此前此處ノ委員會デ御答辯

ニナリマシタノハ、恐クハ現在金ノ時價ガ

非常ニ高クナツテ居ツテ、政府ノ買上値段ヨリ

モ上走ツテ居ルガ爲ニ、ドウモ密輸出ノ勢ヲ

助長シテ居ルト云フコトノ答辯ヲサレタヤ

ウデアリマシテ、今ノ御話ノ買上値段ガ安イ

ト云フコトハ逆デ、時價ニ較ベテ安イト云

フ御話デハナカッタカト諒解致スノデゴザ

イマス、内地ト朝鮮ト同ジ値段デ政府ハ買

上ゲテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、併シ

今申上ゲマンタ通り、實際ノ時價ガ政府ノ

買上値段ヨリモ高クナツテ居リマス關係上、

最近ニ於キマシテ、國境ヲ通ジテ滿洲ニ密

輸出サレル事件ガ頻々ト出テ參リマシタノ

デ、總督府ハ稅關及び警察ト連絡ヲ取リマシ

テ、尙ホ支那側ノ稅關ト打合セラシマシテ、

十分ニ取締監督ヲ致シテ居ルヤウナ次第デ

ゴザイマス、何様アノ貴金屬デアリマシテ、

密輸出モ極メテ巧妙ナ手段ニ出デテ居リマ

スノデ、總テモノヲ押ヘルト云フコトガ

出來ナイヤウナ狀態デアリマスガ、尙ホ今

後トモ從來ノ實績ニ鑑ミマシテ、極力是ガ

檢舉、取締ニ當リタイト思ツテ居リマス

○武田委員 朝鮮ニ關スル質問ハ其程度ニ

シテ置キマシテ……

○高見委員 ソレニ關聯シテ一寸伺ヒタ

イ、此間カラ產金ノコトニ付テ時ミ總監ニ

ニ詳シイ人ニ聽キマスト、本年度ノ產金額

ハソンナニ殖エナイト云フコトデアリマ

ス、ソレハ現在ノ精煉所ダケテ貧鑛ノ精煉

ヲスルト云フコトデハ、晝夜採ッテモ採金

額ハ殖エナイト云フ話ヲ聽キマシタ、ソコ

デ今度ノ朝鮮ノ產金補助費ハサウ云フ貧鑛

ヲ精煉スル爲メノ運搬費ニ使ハレルト云フ

ヒマス、併シ一匁五圓位ノ時ハ良イ鑛石ヲ

コトデスガ、ソレハ非常ニ結構ノコト、思

使フケレドモ、八圓、九圓ニナレバソレハ

後廻シニシテ置イテ、サウンテ貧鑛デ間ニ

合ハセルト云フヤウナ傾向デアルガ故ニ、

人ニ聽イテ見ルト、從來ノ金ノ精煉ハ碎イ

テ砂ノヤウニシテ精煉スルトカ、或ハ水銀

デ溶クトカ云フヤウナ方法デヤツテ居ツノ

デアルガ、分離シ惡イ色ミナ鑛石ノ中ニ含

ンデ居ル金ノ精煉ト云フモノハ、小サナ精

煉所デハ間ニ合ハナイ、ヤレナイ、ソレ故

ニ日本内地デモ今日ハ大キナ精煉所ニ段々

集中サレルヤウナ狀態ニナツテ居ル、小サイ

精煉所デハ仕事ガ出來ナイカラ、大精煉所

昨年來稼行鑛區數ト云フモノガ非常ニ殖エ

タ、サウ云フ點カラ推算スルト非常ニ增加

シテ居ルト思ヒマス、現在ノ時價——現在

ノ時價デハアリマセヌガ、昨年一月カラノ

相場ハ段々騰ツテ參リマシタガ、其相場デ換

算シテ見マスト約二千萬圓以上ニ達シマ

ス、是モ十月以後ノ分ハ分ツテ居リマセヌ、

勿論推算デアリマスカラ正確デアルト斷言

ハ出來マセヌガ、相當增加シテ居ルヤウニ

ス、ソレハ現在ノ精煉所ダケテ貧鑛ノ精煉

ヲスルト云フコトデハ、晝夜採ッテモ採金

額ハ殖エナイト云フ話ヲ聽キマシタ、ソコ

デ今度ノ朝鮮ノ產金補助費ハサウ云フ貧鑛

ヲ精煉スル爲メノ運搬費ニ使ハレルト云フ

ヒマス、併シ一匁五圓位ノ時ハ良イ鑛石ヲ

コトデスガ、ソレハ非常ニ結構ノコト、思

使フケレドモ、八圓、九圓ニナレバソレハ

後廻シニシテ置イテ、サウンテ貧鑛デ間ニ

合ハセルト云フヤウナ傾向デアルガ故ニ、

人ニ聽イテ見ルト、從來ノ金ノ精煉ハ碎イ

テ砂ノヤウニシテ精煉スルトカ、或ハ水銀

デ溶クトカ云フヤウナ方法デヤツテ居ツノ

デアルガ、分離シ惡イ色ミナ鑛石ノ中ニ含

ンデ居ル金ノ精煉ト云フモノハ、小サナ精

煉所デハ間ニ合ハナイ、ヤレナイ、ソレ故

ニ日本内地デモ今日ハ大キナ精煉所ニ段々

ガ必要デアル、ソレ故ニ滿洲方面デ採レル
金ニシテモ、砂金デアルトカ、或ハ簡單ニ
分離サレルモノナラバ宜イケレドモ、サウ
デナク色ミノ鑛石ニ含マレテ居ルモノデ、
分離ノ困難ナモノハ小サイ精煉所デハヤレ
ナイ、ソレデサウ云フ鑛石ハ、自然船ト
カ、鐵道トカニ依テ大キナ精煉所ニ運バ
レ、集中サレル、其意味ニ於テ朝鮮ノ精煉
所ヲ擴張スルト云フコトハ、滿洲方面ノ金
ヲ採ル點カラ見テモ適當ノコトデハナイカ
ト思ヒマス、私ハ通達シタ人ノ意見ヲ聽イ
テ申上げタノデアリマスガ、是ハ單ニ只今
申上ゲタ朝鮮ノ金ノ產出ニ關スル所ノ手段
ヲ講ゼラレルノミナラズ、朝鮮ノ國境ヲ越
エテモサウ云フヤウナコトガアルラシイカ
ラシテ、一つノ對策ヲ考ヘラレテ、サウシ
テ只今ハ金ガ非常ニ必要ナノデアリマスカ
ラ、今回此機會ニ於テ、世間デ金ガ澤山ア
ルト言ツテ居ル朝鮮ニ御出デニナル時ニ、ウ
ント成績ガ舉ルヤウナ相當ノ計畫ヲ樹テラ
レンコトヲ特ニ望ンデ置キマス

○武田委員 私ハ公債發行ノコトニ付テ大

藏政務次官ニ伺ヒタイノデアリマス、第一

ニ伺ヒタイノハ明年度ノ提案ニ依リマス

ト、六億幾ラト云フコトニナッテ居リマスケ
レドモ、大藏大臣其他ノ御説明ニ依テ八年

度ニ於テ發行ニナルベキ額ハ、少ク共十億
圓以上ニナツテ居ルコトハ明カデアリマス、
或ハ十一億ニモ達スルカト思ハレルノデア
リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド
ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ
スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在
ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ
勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○堀切政府委員 今回政府ガ色ミナ公債ヲ

多額ニ出サナクチヤナラヌコトニナリマシ

テ、結局只今御話ノ如ク、十億或ハソレヲ

越エルヤウナ公債ヲ出サナクチヤナラヌヤ

ウニナルダラウト思ヒマス、是ハ市場ニソ

レダケノ消化力ガアルト云フコトヲ何ニ依

テ判断シテ、斯様ニシタカト云フ御尋デゴ
ザイマスルガ、是ハ市場、即チ民間ニ全部
之ヲ持タセルトバカリ限ツタノデハナイノ
知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃
至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ
レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八
リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド
ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ
スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在
ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ
勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○武田委員 其點ニ付テハ、モウ少シ伺ヒ

タイ點ガアルノデゴザイマスケレドモ、是

ハ大藏大臣ガオ出デノ時ニ伺フコトニ致シ

マシテ、保留致シテ置キマス

次ニ我國ノ正貨準備ハ御承知ノ通リニ四

保證準備ノ擴張ニ依ッテ十億ノ兌換券ヲ發

行シ得ルノデアリマスカラ、制限外發行ナ

シニ日本銀行ガ發行シ得ル兌換券ノ高ハ十

四億餘リシカナイノデアリマス、ソコデ今

日約十億乃至十一億ノ兌換券ガ最近發行サ

レテ居ルノデアリマスカラ、餘ス所僅ニ三

億五千乃至四億ノ餘裕シカナイヤウニ思ツテ

出タヤウニ、三分ヲ下ラザル稅ヲ納メテ免

居リマス、ソコデ約十億以上ノ公債ヲ發行

サレルト云フコトニナリマスルト、私ノ承

知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○堀切政府委員 今回政府ガ色ミナ公債ヲ

多額ニ出サナクチヤナラヌコトニナリマシ

テ、結局只今御話ノ如ク、十億或ハソレヲ

越エルヤウナ公債ヲ出サナクチヤナラヌヤ

ウニナルダラウト思ヒマス、是ハ市場ニソ

レダケノ消化力ガアルト云フコトヲ何ニ依

テ判断シテ、斯様ニシタカト云フ御尋デゴ
ザイマスルガ、是ハ市場、即チ民間ニ全部
之ヲ持タセルトバカリ限ツタノデハナイノ
知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○武田委員 其點ニ付テハ、モウ少シ伺ヒ

タイ點ガアルノデゴザイマスケレドモ、是

ハ大藏大臣ガオ出デノ時ニ伺フコトニ致シ

マシテ、保留致シテ置キマス

次ニ我國ノ正貨準備ハ御承知ノ通リニ四

保證準備ノ擴張ニ依ッテ十億ノ兌換券ヲ發

行シ得ルノデアリマスカラ、制限外發行ナ

シニ日本銀行ガ發行シ得ル兌換券ノ高ハ十

四億餘リシカナイノデアリマス、ソコデ今

日約十億乃至十一億ノ兌換券ガ最近發行サ

レテ居ルノデアリマスカラ、餘ス所僅ニ三

億五千乃至四億ノ餘裕シカナイヤウニ思ツテ

出タヤウニ、三分ヲ下ラザル稅ヲ納メテ免

居リマス、ソコデ約十億以上ノ公債ヲ發行

サレルト云フコトニナリマスルト、私ノ承

知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○堀切政府委員 今回政府ガ色ミナ公債ヲ

多額ニ出サナクチヤナラヌコトニナリマシ

テ、結局只今御話ノ如ク、十億或ハソレヲ

越エルヤウナ公債ヲ出サナクチヤナラヌヤ

ウニナルダラウト思ヒマス、是ハ市場ニソ

レダケノ消化力ガアルト云フコトヲ何ニ依

テ判断シテ、斯様ニシタカト云フ御尋デゴ
ザイマスルガ、是ハ市場、即チ民間ニ全部
之ヲ持タセルトバカリ限ツタノデハナイノ
知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○武田委員 其點ニ付テハ、モウ少シ伺ヒ

タイ點ガアルノデゴザイマスケレドモ、是

ハ大藏大臣ガオ出デノ時ニ伺フコトニ致シ

マシテ、保留致シテ置キマス

次ニ我國ノ正貨準備ハ御承知ノ通リニ四

保證準備ノ擴張ニ依ッテ十億ノ兌換券ヲ發

行シ得ルノデアリマスカラ、制限外發行ナ

シニ日本銀行ガ發行シ得ル兌換券ノ高ハ十

四億餘リシカナイノデアリマス、ソコデ今

日約十億乃至十一億ノ兌換券ガ最近發行サ

レテ居ルノデアリマスカラ、餘ス所僅ニ三

億五千乃至四億ノ餘裕シカナイヤウニ思ツテ

出タヤウニ、三分ヲ下ラザル稅ヲ納メテ免

居リマス、ソコデ約十億以上ノ公債ヲ發行

サレルト云フコトニナリマスルト、私ノ承

知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○堀切政府委員 今回政府ガ色ミナ公債ヲ

多額ニ出サナクチヤナラヌコトニナリマシ

テ、結局只今御話ノ如ク、十億或ハソレヲ

越エルヤウナ公債ヲ出サナクチヤナラヌヤ

ウニナルダラウト思ヒマス、是ハ市場ニソ

レダケノ消化力ガアルト云フコトヲ何ニ依

テ判断シテ、斯様ニシタカト云フ御尋デゴ
ザイマスルガ、是ハ市場、即チ民間ニ全部
之ヲ持タセルトバカリ限ツタノデハナイノ
知スル所ニ依レバ、公債ノ發行額ノ三割乃

至四割ノ兌換券ガアレバ、ソレニ應ジ得ラ

レルヤウニナツテ居ルノデアリマスカラ、八

リマスガ、此限度ヲ御決メニナツタノハ、ド

ウ云フ根據カラ之ヲ決メラレタノデアリマ

スカ、此十一億ニ垂トスル公債ヲ、現在

ノ我國ノ市場デ消化シ得ルト云フ御見込ハ

勿論立ツテ居ルコトデアラウト思ヒマスガ、
ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ承ル所
ニ依ルト、勸業銀行ノ調査デハ最近五箇年
ノ計畫デ、公債、社債、株式等ノ拂込總額
ガ大約十五億ト承ツテ居リマス、サウスルト
〔委員長退席木暮委員長代理著席〕
是ハ最近五箇年ノ平均ダト致シマスト、其
内ニハ公債、株式ノ拂込モ當然行ハルベ
キ筈ダト思ヒマスノデ、サウスルト約十一
億ノ公債ヲ消化スルコトハ困難デナイヤウ
ニ思ハレルノデ、其消化シ得ルト云フコト
ノ見當ヲ御立テニナツタ根據ヲ一つ伺ヒタ
イト思フノデアリマス

○武田委員 私ハ公債發行ノコトニ付テ大

藏政務次官ニ伺ヒタイノデアリマス、第一

ニ伺ヒタイノハ明年度ノ提案ニ依リマス

ト、六億幾ラト云フコトニナツテ居リマスケ
レドモ、大藏大臣其他ノ御説明ニ依テ八年

換券ヲ發行致セバ、幾ラデモ發行出來ル次第デアリマス、併シ日本ノ經濟界ガ好クナルカ惡クナルカト云フ大事ナ問題ニハ、所謂「インフレーション」或ハ通貨ノ供給ヲ適當ニ致スト云フコトモ大事デアリマスガ、ソレト同時ニ發行シタル紙幣ガ能ク轉々流通スルカドウカ、即チ其通貨ノ運轉速度、度數、斯ウ云フモノガ非常ニ重大ナル關係ヲ有ツコトモ明カデアリマス、隨テ以前ノ大正八九年アタリノ非常ナ景氣ノ好イ際ノ兌換券發行ノ總量ハ、ソンナニ餘計出テナカッタノデアリマス、十三四億ト記憶致シテ居リマスガ、アレダケ民間ノ經濟界ガ賑ツテ來タノハ非常ニ運轉速度ガ速カッタモノト思ッテ居リマス、又其以外ニ廣イ意味ニ於ケル「マネー」ノ一種デアリマス、斯ウ云フ物ノ流通ガ非常ニ盛ニナツテ參リマスノデ、必シモ日本銀行カラ幾ラ通貨ヲ出シテ行クト云フコトガ、經濟界ノ盛衰如何ニ餘リ重大ナ關係ヲ有タナイ、隨テ是バカリデ判断スル譯ニハ參ラヌ、斯様ニ考ヘテ居リマス、今年十億出し、又明年モ十億出サナケレバナラナイ、一部ハ左様デアラウト私モ考ヘマスガ、併ナガラ是ハ其市場ノ情勢ニ依レバ經濟界ガ好クナツテ民間ノ力ノ餘ツテ居ルモ

較的容易ニナリマセウ、又其他ノ經濟の方
面ニ之ヲ廻ハス方ガ忙シクナツテ、公債ヲ有ツ
者ガ比較的希望者ガ少イト云フヤウナ場合
ニハ、民間ダケデハ之ヲ呑ミ切レナイデ、矢
張日本銀行ニ或ル程度マデハ之ヲ持ッテ貰
フト云フコトニナルデアラウト思ヒマス、
十四億何千萬圓見當ヲ超エナイデ、之ヲ消
化シ切レルカドウカト云フコトハ、俄ニ今
日之ヲドチラニナルト御返事致シ兼ネルノ
デアリマス、現ニ昨年ノ十二月デモ制限外
發行ヲシナケレバナラナカッタヤウナ狀態
デアリマス

ノデアラウト思フノデアリマス、餘程重ナコトデナケレバ此制限外發行ハシナイト云フ建前カラ、アノ兌換券條例ノ改正ガ行ハレタモノト私ハ承知ヲシテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ公債ヲ發行スル上ニ於テ、足リナカツタノハ制限外發行ヲシテ之ニ應ズルガ宜イト云フ風ニ、餘リ輕ク考ヘルト云フコトモドウカト思ヒマス、マアソレハサウト致シマシテ、併ナガラ一面ニ於テハ左様ニ致シテモ宜シイト云フ大藏當局ノ御決心デアルト致シマスト、其結果ト致シマシテ、ドウシテモ三分ノ稅金ヲ納メルダケノ利子ガ高クナルト云フコトハ當然デアリ

申上ゲタヤウニ、私ノ存ジテ居ル所ハ從來
ノ關係カラ申シマスト云フト、公債ノ發行
ノ約七割位ハ元ニ戻ツテ來ルコトハ事實デア
ルヤウデアリマスケレドモ、其三割位ハド
ウシテモ日本銀行ガ之ヲ引受ケルト云フコ
トデアレバ、兌換券ノ増發ハ免レナイモノ
デアルヤウニ思フノデアリマス、又是ハ民
間ガ相當ニ吸收シナイト云フコトデアルナ
ラバ、十億ノ公債引受ハ十億ノ兌換券發行
ニナルコトハ當然デアル、三割位デアルト
見テモ、此公債ノ日本銀行ノ引受ハ九年度
デ一杯ニナリハシナイカト云フ懸念カラ今
ソダノデアリマスガ、其點ハドウ云フ風ナ

スト、明年ニ於テ若シ日本銀行ハ公債ヲ引受ケル上ニ於テ、制限外發行ヲシナケレバナラヌ場合ニ於テハ、三分ノ稅金ヲ納メレバ宜イト云フノデアリマスガ、其御決心ガアレバ勿論異存ナイ話デアリマス、併ナガラ從來ハ私ガ申マデモナク保證準備ノ一億二千萬圓ニ限ラレ、テ居ツタ爲ニ絶エズ制限外發行ト云フコトハ殆ド通念ノヤウニナッテ居ツタノデアリマス、斯様ナ事デハ制限外發行ノ意義ガナイ、制限外發行ト云フコトハ金融界ノ危急ニ迫ツタト云フ「シグナル」デアル、ソレヲ平生出シテ行クコトハ宜クナイト云フノデ、保證準備ノ擴張ガ成ツタモ

マス、サウシマスト云フト今日大藏當局ノ執ツテオ出デニナル低金利政策ト、其處ニ矛盾シヤシナイカト云フヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレハ如何デアリマセウカ、ソレトソレニ關聯シマシテモウ一ツ伺ヒタイコトハ、成程今ノ御話デ、堀切サンノ御意見カラ申セバ、世ノ中ハ「インフレーション」ノ結果金ハ餘計ニナッテ來ルシ、又貨幣ノ流通其他小切手等ノ流通モ盛ニナッテ來ルコトニナレバ、其處ニ餘裕ガ出來ルカラ、相當公債ハ増加スルデアラウ、斯ウ云フ御話デアリマス、ソレハマアサウアルコトヲ私ハ希望致シテ居リマスガ、併シ先程

○堀切政府委員 制限外發行ニ對シテ、三分ヲ下ラザル稅ヲ課ケルコトニシタ、是ハ制限外發行ヲ出來得ル限り致サセナイ爲ノ用心デヤナイカト、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、是ハ今ノ大藏大臣ノ御考ト違ツテ居ルヤウデアリマス、アノ改正ヲ爲ス際ニ、大藏大臣ノ御考ハ制限外發行稅ト云フモノヲ全廢シタ方ガ宜カラウト云フ御説デアツタノデアリマス、詰リ通貨ノ供給ハ農工、商、其他實業家ガ必要トスル十分ナ供

給ヲスルノガ當然デアル、之ニ對シテ妄ニ
稅ヲ課ケルト云フノハオカシイモノデア
ル、斯ウ云フモノニ稅ヲ課ケルナント云フ
コトハ、稅ノ中デモ頗ル惡稅デヤナイカ、
ソレダカラ限外發行稅ナドハ廢メテシマツ
タ方ガ宜カラウト云フ御意見デアツタノデ
アリマス、併シソレデハ今迄ノ國民ノ觀念
ノ上カラ言ッテ、ドウモ締リガナイヤウニ感
ズルノデ、ドウ云フモノデアラウト云フヤ
ウナ議論モ一面ニアリマシタノデ、ソレデ
ハマア其用心ノ爲ニ三分ヲ下ラザルト云フ
コトヲ付ケテ置カウト云フコトニ決定ニナ
リマシタノデ、此制限ヲ付ケタカラト云
チ遺憾ナク民間ニ使ハセルト云フ其趣意ヲ
抑ヘル譯デハ決シテナイノデアリマス、從
來制限外ト稱シナガラ、度々限外發行ヲ致
サナクテハナラナカツタデハナイカ、ソレハ
致サナケレバナラナカツタ必要ガアルカラ、
自然サウナツタノデアル、サウ云フ時ニ強ヒ
テ法律規則ヲ設ケテ、之ヲ制限スルヤウナ
コトハ時代ニ副ハナイ、ソレダカラ其制限
ヲ今回緩メタノデアリマス、ソレデ其點ハ
御懸念ノ如ク非常ニ窮屈ナモノデナイト云
フコトヲ御承知置キ願ヒタイノデアリマ
ス、ソレカラ低金利政策ト衝突シハシナイ

カ、餘リ公債ヲ餘計出スト云フコトハ、民
間デソレニ應ジ切レナクナツテ、結局其方ニ
對スル金利ガ、ドチラカト云フト高イモノ
ヲ持ツコトニナツテ、金利ハ是ガ爲ニ下ラナ
イデハナイカ、然ラバ政府ノ低金利政策ト
衝突スルデハナイカト云フ御質問ハ、是ハ
豫算委員會ノ方デモゴザイマシタシ、御尤
ノコト、思ヒマスガ、私共ハ金利ノ高低ト
云フコトハ、啻ニ需要供給ノ關係カラバカ
リ動クモノトハ考ベテ居ラナイノデアリマ
ス、無論通貨ニ對スル需要供給、斯ウ云フ
點モ大事ナ問題デアリマスガ、是ト同時ニ
世ノ中ノ人ミガ金利ト云フコトニ付テドウ
云フ感ジヲ持ツテ居ルカ、所謂社會的心理狀
態ノ如何ニ依テ、是ハ非常ニ影響スルト思
フノデアリマス、即チ政府モ、有力ナル政
黨モ、世ノ中ノ識者モ、金利ハ成タケ安イ
方ガ宜シイ、何故カト云ヘバ其金ヲ蓄ヘテ
利息ヲ取ル人ヨリ、之ヲ活用シテ生産ニ從
事シテ居ル人ノ方面、即チ農商工、勞働等
ニ從事シテ居ル人ミヲ有利ノ地位ニ立タシ
メルノガ宜イノデ、大藏大臣ノ言葉ヲ以テ
申上ゲマセヌガ、併シ金利ハ需要供給ニ依
テノミ高下シナイ、一般ノ心持ニ大分影響
申上ゲマセヌガ、併シ金利ハ需要供給ニ依
テノミ高下シナイ、一般ノ心持ニ大分影響
スルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ成程
長イ目デ見タナラバ、サウ云フコトモ影響
スレバ、所謂勞資ノ協調モ之ニ依テ得セシ
メナケレバナラヌト云フヤウナ考ガ、段々
ト世ノ中ニ廣クナレバ、金利ハ自然ニ是ハ
低落ノ傾向ヲ持ツテ參ルノデアリマス、又高

利取締法ト云フヤウナ方法ニ依テモ、凡ユ
ル方面カラ金利ハ出來得ル限リ安イモノニ
今後仕向ケタイト、斯ウ云フ風ノ方針デア
リマス、需要供給ノ方面カラバカリ考ヘル
ト、御議論ノヤウナ御懸念モ生ジ易イノデ
アリマスケレドモ、一面ニハ又左様ナ外ノ
勢力モ効イテ參ルノデアリマス「インフレ
ーション」デ通貨ノ供給ガ段々潤澤ニナル
コトハ申ス迄モナインデアリマス、其供給
ガ潤澤ニナレバ其利子モ下ルト云フ傾向ハ
確ニ茲ニ効イテ參ル、其上政府ハ斯ウ云フ
根本的政策ヲ以テ臨ムト云フコトデアレ
バ、恐ラク私ハ矢張低金利政策ハ今後進ム
コトデアルト思フノデアリマス

○武田委員 私ハ只今ノ堀切サンノ御話ヲ
承ブテ甚ダ意外ニ感ズルノデアリマス、敢テ
私ハ議論スルノデハアリマセヌカラ強ヒテ
申上ゲマセヌガ、併シ金利ハ需要供給ニ依
テ、銀行ヨリ更ニ短期ノ債券ヲ賣出シテ吳
レト云フ要求ニ對シテ、今朝ノ新聞ヲ見マ
スルト、日本銀行ハ更ニ二千萬圓ノ短期債
券ヲ各銀行ニ賣出スコトニ相成シタト云フ
ヤウナコトハ、今堀切サンノ御話ノ如ク、
一面ニ於テハ「インフレーション」ニ依テ資
金ノ横溢シタ結果デアルト思ヒマスカラソ
レハ認メマス、認メマスガ、之ヲ全體カラ
申シマスルト云フト、先程申上ゲルヤウニ、
最近ノ情勢ニ於テ貯蓄カラ現レテ居ル所ノ
市場ニ出マス所ノ資金ノ高ハ、勸銀ノ調べ
カラ見マスト、平均十五億ト云フ、其中ノ
十二三億ト云フモノハ株式並ニ社債ト云フ
ヤウナモノニ私ハ振向ケラレテ居ルデアラ

ウト思フ、サウシマスト、二三億位ノ資金ガ市場へ吸收サレル額デアルヤウニ思ハレルノデアリマス、是ハ最近ノ情勢デアッテ、所謂金解禁ノ結果トシテ、非常ニ世ノ中ガ不景氣ニナッテ居ル狀態デアリマスルカラ、最近ノ五箇年ノ平均ノ狀態ヲ以テ將來ヲ推斯コトハ無論出來マセヌ、即チ今御話ノ如ク「インフレーション」ノ結果資金ガ市場ニ増スデアリマセウ、是ハ此公債ノ消化ノ力モ勿論増スデアリマセウガ、ソレト同時ニ愈々物價ガ高クナリマシテ、今日ノ物價ハ高イト申シマシテモ、爲替ノ關係上或ル一部分ノ物價ガ高イダケデアッテ、全般ニハ未ダ響イテ居ラナイノデアリマス、是ガ「インフレーション」ガ本格ニナッテ來タリマス、サウシマスト所謂此日本銀行ノ「オペレーション」ト云フモノハ非常ナ困難ナ状態ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ惧ル

銀行ニ迫ツテ國債ノ賣出ヲ求メテ居ルト云ノ需要ト云フモノハ非常ニ增加スルト云コトモ是ハ當然デアリマス、其結果資金ノ需要ト云フコトハ當然デアッテ、物價ガ高クナルト云フコトハ、其結果資金同時ニ産業竝ニ企業ガ非常ニ盛ニナルト云フコトモ是亦當然デアリマス、其結果資金ノ需要ト云フモノハ非常ニ增加スルト云コトモ是ハ當然デナケレバナラヌノデアリマス、又資金ノ需要ガ非常ニ增加スルト云フコトニナラナケレバ、世ノ中ノ景氣ガ恢復スルト云フコトハアリ得ナイノデアリマス、大藏大臣ノ御見解ニ依リマスルト、昭和十年度ノ豫算ヲ編成スル頃ニナレバ、世ノ中ノ景氣ハ恢復シテ、二億圓以上ノ自然増

收ヲ見ルデアラウト云フ位ノ御豫想ヲ御立

テニナルニハ、其時分ニハ少クトモ昭和二年頃ノ程度ニマデ世ノ中ガ恢復スル、斯

雲フ御見込デナケレバナラヌノデアリマス、サウシマスト今申シマスヤウニ資金ノ需要ト云フモノハ市場ニ増加致シマシテ、社

債竝ニ株式ノ拂込金ト云フモノハ、少クトモ

十二三億、或ハ四十五億ニ達スルデアリマセウ、

隨テ又金利モ相當ニ上ルト云フコトモ是

ハ免レヌコトデハナカラウカト思フノデア

リマス、サウシマスト所謂此日本銀行ノ「オペレーション」ヲヤリタクテモ、短

期債券ガ殆ドナイト云フコトニナリマスル

ト、其「オペレーション」ガ岩ニ間ヘタヤウ

ナコトニナリハシナイカト云フ私ハ懸念ガアルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ大藏

省デハドウ云フ御見解ヲ御有チニナッテ居

クチヤナラヌノデアリマス、ソレダケ此資

金ノ供給ハ世ノ中ニ裕ニナッテ參ルノデア

リマス、之ヲウチヤラカシテ置イテハ餘

リニグブツク、或ハ投機思惑等ニ走リ過

ギルト云フコトノ爲ニ、日本銀行ハ先づ其

持ツテ居ルモノヲ世ノ中ニ賣出シ、サウシテ

其間ニ調節フ圖ル、斯ウ云フノデアリマシ

テ、大體政府ハ低金利ヲ助長シテ、之ヲ今

後ノ大方針ニシタイト云フノデスガ、此國

債ヲ出シ低金利ヲヤル間ニ、餘リニ時ニ波

瀾ガ有リ過ギテハ困ルカラ、大ナル動搖ノ

ナイヤウニ時ニ此「オペレーション」ヲヤッ

テ、之ヲ滑カニ進行セシムル、斯ウ云フ意

味デアリマス、ソレデ段々短期ノモノハ

ナクナルガ、サウシタラドウスルカ、銀行

其他保險會社ナドデ短期ノモノヲ買ヒタク

テモ、買フモノガナクナルカラ、今度ハ段

朝ノ新聞ニ依リマスルト、昨日二千萬圓ノ短期ノ債券ヲ賣出シタ結果、日本銀行ノ手ニハ最早六千萬圓位シカ短期ノ債券ガ残ツテ居ナイト云フコトデアリマス、

○堀切政府委員 「オープントーマーケット・オペレーション」ガ段々出來ナクナルノヂヤ

ナイカト云フ御懸念デアリマスガ、是ハ過

一面ニ於テハ金利ガ昂騰スルノ傾向ガアリ、一面ニ於テハ日本銀行ノ持ツテ居ル所

ノ短期ノ債券ガ段々少クナッテシマフト云

シテ、明年度ニ入ッテ八年度ノ豫算ガ實行

サレルヤウナ場合ニナリマシタナラバ、所

謂「インフレーション」ガ本格ニナッテ來タ

場合ニナリマスト、資金ノ需要ガドンヽ

殖エテ來ルデアリマセウ、其場合ニ日本銀

行ハ「オペレーション」ヲヤリタクテモ、短

期債券ガ殆ドナイト云フコトニナリマスル

ト、其「オペレーション」ガ岩ニ間ヘタヤウ

ナコトニナリハシナイカト云フ私ハ懸念ガ

アルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ大藏

クチヤナラヌノデアリマス、ソレダケ此資

金ノ供給ハ世ノ中ニ裕ニナッテ參ルノデア

リマス、之ヲウチヤラカシテ置イテハ餘

リニグブツク、或ハ投機思惑等ニ走リ過

ギルト云フコトノ爲ニ、日本銀行ハ先づ其

持ツテ居ルモノヲ世ノ中ニ賣出シ、サウシテ

其間ニ調節フ圖ル、斯ウ云フノデアリマシ

テ、大體政府ハ低金利ヲ助長シテ、之ヲ今

後ノ大方針ニシタイト云フノデスガ、此國

債ヲ出シ低金利ヲヤル間ニ、餘リニ時ニ波

瀾ガ有リ過ギテハ困ルカラ、大ナル動搖ノ

ナイヤウニ時ニ此「オペレーション」ヲヤッ

テ、之ヲ滑カニ進行セシムル、斯ウ云フ意

味デアリマス、ソレデ段々短期ノモノハ

ナクナルガ、サウシタラドウスルカ、銀行

其他保險會社ナドデ短期ノモノヲ買ヒタク

テモ、買フモノガナクナルカラ、今度ハ段

段長期ノモノデモ宜イカラ賣ッテ吳レロト
云フコトニ是ハ傾クモノト考ヘマス、デス
カラ只今カラ總テノモノヲ動カザル狀態ノ
下ニ假定シテ吾ミガ議論ヲ立テ、行ク譯ニ
ハ參ラヌデアラウト思ヒマス、是ハ色ニ
動イテ參ルノデアリマス、又之ヲ政府ノ方
針ノ爲有利ノ方ニ段々ト是等ノ四圍ノ環
境ヲ導イテ行カナケレバナラヌノデアリ
マス、無論毎年多大ノ公債ヲ募集シテサ
ウシテ是ガ爲ニ通貨モ殖エル、財政モ容
易ナラザル事情ニ陥ツテ來ル、之ヲ此儘ニ
シテ置イテハ好イ結果ヲ生ズルモノトハ
決シテ考ヘテ居ラナイノデアリマス、十
分ニ研究モ調査モ積ミ、頭モ搾ッテ、サウ
シテ一番弊害ノ少イ、サウシテ效果ノ多
ス

○武田委員 ドウモ堀切サンノ御話ハ多ク
ヲ語ツテ一事ヲ語ラズト云フヤウナ譯デ、私
ノ伺ヒタイト思フ點ヲ端的ニ伺フコトガ出
來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、或ハ此日
本銀行ノ「オペレーション」ヲヤルト云フコ
トハ、大口君ナドハ寧ロヤッタ方ガ惡イト
云フノニ、オ前ハヤルコトガ出來ヌデ困リ
ハセヌカ、反對デヤナイカト云フ御話デア

リマスケレドモ、私ハ公債ヲ募集スルト云
フコトモ已ムヲ得ナイト存ジマス、又決シ
テ此案ニ反對ト云フ基調カラ申シテ居ル譯
ニ、十年ニタラドウニカ財政ノ均衡ヲ
得ルコトモ出來ヤウシ、公債ヲ募集スルコ
トモズット少クナルカラ、サウ心配セヌデ
モ宜イト云フヤウナ樂觀ヨリハ將來ニ互ツ
モ相當公債ヲ募集スルコトハ已ムヲ得
ナイ、寧ロ悲觀ト言ヒマスカ、ドウカ知リ
マセヌガ、事實ハ事實トシテ、サウ云フコ
トヲ回避セズシテ公債ヲ募集シナケレバ
ナラナイト云フ決心ノ下ニ、考ヲ定メテ
リマス、即チ先程モ申上ゲタコトヲ繰返シ
トヲ承リタイト云フコトヲ申シタノデア
リマス、即シテ考ヘマスレバ、日本ノ金融市場ノ
テ申スヤウデアリマスガ、詰リ今日ノ現状
ニ即シテ考ヘマスレバ、日本ノ金融市場ノ
消化力ト云フモノハサウ多クハナイヤウニ
ハニ億ヤ三億ノ消化力ハ勿論アリマセウケ
レドモ、ソレ以上ニ政府ガ思フ儘ニ「オペ
レーション」ヲシテ、通貨ノ増發ガ餘計過
ギタト思フト自由自在ニ「オペレーション」
ヲシテ、理想的ノ調節ヲスルト云フコト
ハ出来ルナラバ四分公債ヲ發行シタイト云
フ御希望デアラウシ、吾ミモサウ云フコト
ヲ希望シテ居ルノデアリマス、成ベク利率
ハ低ク、期限ハ長クト云フコトハ、是ハ當
然デアルニ拘ラズ、今日ノ實情ニ於テハソ
レガ出來ナイノデハナイヤ、金利モ幾ラカ
高クナル、或ハ將來愈、期間ヲ短縮スルト云
フ、短期公債デナケレバナラヌヤウナコト
ニナリハスマイカト云フ懸念カラ御伺シタ
ノデアリマス、現ニ大藏省デハ四分五厘ノ
公債ヲ十一箇年、十二箇年ノ比較的短期ノ

ハシナイカ、所謂藥ガ利キ過ギハシナイ
カト云フ疑問デアツタト私ハ承知シテ居リ
マス、將來ニ於キマシテモ相當ナ金融ノ調
節竝ニ通貨ノ増發ニ付テ或ル程度ノ「オペ
レーション」ヲシナケレバナラヌト云フコ
トハ、是ハ何人モ異論ノナイコトダト思
トハノデアリマス、サウ思ヒマスルカラ、其
支障ニナルコトニ向ツテ大藏當局ハドウ云
フ御計畫ヲ御有チニナツテ居ルカト云フコ
トヲ承リタイト云フコトヲ申シタノデア
リマス、即チ先程モ申上ゲタコトヲ繰返シ
トヲ回避セズシテ公債ヲ募集シナケレバ
ナラナイト云フ決心ノ下ニ、考ヲ定メテ
リマス、即シテ考ヘマスレバ、日本ノ金融市場ノ
消化力ト云フモノハサウ多クハナイヤウニ
ハニ億ヤ三億ノ消化力ハ勿論アリマセウケ
レドモ、ソレ以上ニ政府ガ思フ儘ニ「オペ
レーション」ヲシテ、通貨ノ増發ガ餘計過
ギタト思フト自由自在ニ「オペレーション」
ヲシテ、理想的ノ調節ヲスルト云フコト
ハ出来ルナラバ四分公債ヲ發行シタイト云
フ御希望デアラウシ、吾ミモサウ云フコト
ヲ希望シテ居ルノデアリマス、成ベク利率
ハ低ク、期限ハ長クト云フコトハ、是ハ當
然デアルニ拘ラズ、今日ノ實情ニ於テハソ
レガ出來ナイノデハナイヤ、金利モ幾ラカ
高クナル、或ハ將來愈、期間ヲ短縮スルト云
フ、短期公債デナケレバナラヌヤウナコト
ニナリハスマイカト云フ懸念カラ御伺シタ
ノデアリマス、現ニ大藏省デハ四分五厘ノ
公債ヲ十一箇年、十二箇年ノ比較的短期ノ

リマス、私ハ先程申上ゲマシタヤウニ、日
本ノ市場ノ消化力ノ關係カラ申シマシテ
モ、ドウモソレヲ總テ消化スルコトハ困難
デハアルマイカ、困難ダト云フコトデアレ
バ、日本銀行ガ如何様ニ「マーケット・オペ
レーション」ヲヤラウト思ヒマシテモ、買
手ノナイモノヲ賣ルコトノ出來ナイト云フ
コトハ當然デアリマス、又ソレヲ強ヒテ「オ
ペレーション」ヲ實行シヨウト思ハレルナ
ラバ、金利ガ高クナルト云フコトハ免レナ
ベ、金利ガ高クナルト云フコトハ當然デア
リマス、即チ先程モ申上ゲタコトヲ繰返シ
トヲ承リタイト云フコトヲ申シタノデア
リマス、即シテ考ヘマスレバ、日本ノ金融市場ノ
消化力ト云フモノハサウ多クハナイヤウニ
ハニ億ヤ三億ノ消化力ハ勿論アリマセウケ
レドモ、ソレ以上ニ政府ガ思フ儘ニ「オペ
レーション」ヲシテ、通貨ノ増發ガ餘計過
ギタト思フト自由自在ニ「オペレーション」
ヲシテ、理想的ノ調節ヲスルト云フコト
ハ出来ルナラバ四分公債ヲ發行シタイト云
フ御希望デアラウシ、吾ミモサウ云フコト
ヲ希望シテ居ルノデアリマス、成ベク利率
ハ低ク、期限ハ長クト云フコトハ、是ハ當
然デアルニ拘ラズ、今日ノ實情ニ於テハソ
レガ出來ナイノデハナイヤ、金利モ幾ラカ
高クナル、或ハ將來愈、期間ヲ短縮スルト云
フ、短期公債デナケレバナラヌヤウナコト
ニナリハスマイカト云フ懸念カラ御伺シタ
ノデアリマス、現ニ大藏省デハ四分五厘ノ
公債ヲ十一箇年、十二箇年ノ比較的短期ノ

公債デ募集ニナツテ居ル、是等ハ將來ノコトヲ餘リ、長イ期間デハムヅカシカラウト云フ御懸念カラスウナツタモノト思フノデアリマス、而モ將來低金利ヲ實行シ、低金利ヲ實現スルデアラウト云フ御見込ノ大藏省ノ御意見ニ從テ發行サレタ所ノ公債ガ約五分近クニ當ツテ居ル、四分九厘何毛ニ當ツテ居ル、サウシマスルト私ハ將來ノ低金利ト云フコトニ向ツテ非常ナル懸念ヲ持ツ、又大藏省ノ「オペレーシヨン」モ滑カニ行ハレルカドウカト云フコトニ懸念ヲ持ツ、其懸念ヲ持ツト云フコトハ、要スルニ今日ノ實情ニ於テ日本ノ金融市場ハ大藏省ノ御希望ニナルヤウニ、之ヲ消化スルノ力アリヤ否ヤト云フコトニ向ツテ私ハ多大ノ懸念ヲ持ツノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、私ハ今御伺シマシタヤウニ、將來ハドウシテ低金利ヲ維持爲サル御積リデアルカ、サウシテ公債ヲ十分ニ市場ヲシテ消化セシメルコトガ出來ルト云フ御見込ガドウ云フ點カラ立ツテ居ルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイゾニアリマス、又モウ一つハ其懸念ハ十分ニ大藏省ハ持ツテ居ル、ダカラシテ是カラ出ス所ノ公債ハ極メテ一時的ニ短期ニスデアリマセウカドウカ、斯ウ云フコトヲ伺

公債デ募集ニナツテ居ル、是等ハ將來ノコト

○堀切政府委員

○堀切政府委員 ソレハ武田サンガ日本ノ

情勢ノ如何ニ依テ之ヲ市場ニ賣出ス、ドウヘ持ツテ行ク、サウシテ日本銀行ハ市場ノ

リマス、其上何處マデモ上ツテ宜イト云フ
譯デハナイ、其位ニナレバ其點デ寧ロ安定

フ御懸念カラ 斯ウナツタモノト思フノデア

リマス、而モ將來倒金利ヲ實行シ、倒金利ヲ
實現スルデアラウト云フ御見込ノ大藏省ノ

御意見ニ從テ發行サレタ所ノ公債ガ約五分

ル、サウシマスルト私ハ將來ノ低金利ト云

省ノ「オペレーション」モ滑カニ行ハレルカ

ドウカト云フコトニ懸念ヲ持ツ、其懸念ヲ

持ツト云フニトハ 要スルニ 今日ノ實情ニ
於テ日本ノ金融市場ハ 大藏省ノ御希望ニナ

ルヤウニ、之ヲ消化スルノ力アリヤ否ヤト

デアリマス、ソレデアリマスルカラ、私ハ

今御伺シマシタヤウニ、將來ハドウシテ低
金利ヲ維持爲サル御積リデアルカ、サウシ

テ公債ヲ十分ニ市場ヲシテ消化セシメルコ
、ダ出来レ、云フ御見入ダビク云フ占カラ

トガ出来ルハ云々御見逃ガトウ云々黒ナシ立ツテ居ルノデアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒ

タインデアリマス、又モウ一ツハ其懸念ハ

ラ出ス所ノ公債ハ極メテ一時的ニ短期ニス

ルヨリ外ニ仕様ガナイデハナイカト云フノ
デアリマセウカドウカ、斯ウ云フコトヲ伺

○堀切政府委員 ソレハ武田サンガ日本ノ公債ノ消化力ヲ十五億圓ト先づ御決メニナルノガ私ハドウ云フモノカト思フ、昨年ノヤウナ景氣ノ極悪カツタ際、國民ノ貯蓄力ノ非常ニ少カツタ際ニハ十五億圓デアツタカモ知レマセヌケレドモ、經濟界ガ段々復活シテ所得ガ増シテ來レバ、此消化力ハ段々殖エテ參ルノデアリマスカラ、十五億ト云フモノヲ動カザルモノト御斷定ニナツテ將來ヲ判断スル譯ニハ參ラヌ、ソレガ一ツ、又勸銀デサウ云フ調査ト云フコトデアリマスガ、吾ニハ十五億ト限ラレテ、決シテ之ニ彈力ノナイモノトハ認メテ居ラヌノデアリマス、ソレナラ今年度ノ實際ナドニ付テ考ヘテ見マシテモ、今年度七八億ノ公債ヲ三月末マデニハ出スガ、低金利ノ大體ノ趨勢モ順調ニ進ンデ行クテ、是ガ左程妨ゲニナルトハ思ツテ居リマセヌ、民間ニ若シ今後政府ガ出ス公債ノ應募力ガナカツタ場合ニハ、先程申上ゲタ通リソレハ日本銀行ニ持ツテ

シテモ賣出セナイト云フ時ハ、是ハ持ツテ御懸念ノヤウナ心配ハ少イノデハナイカト豫想致シマス、今後出ス公債ナドモ全部低利ナモノニナルノデハナイカト云フ御話アリマスガ、低利ノモノバカリヲ出シタイト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、成ベク安イモノヲ成ベク長イ期間デ出シタイ、是ハ希望デアリマスガ、併シ其時ノ金融ノ狀況如何ニ依テ是ハ發行條件等ガ決マルノデアリマス、是モ豫メ必ズ斯ウダア、ダト斷言スルコトハ出來ナイ、將來ノコトハ斯ウナルアナル、是ハ間違ナイト、ヨクサウ云フヨトヲ斷言ナサル政治家モアリマスガ、其時ハ愉快デモ、後カラ皆ソレガグラ／＼グラツイテ來タノデハ何ニモナラナイ、私共ハ出來ルダケ斷定的ノコトヲ申シタクナイノデアリマスルガ、併ナガラ大體ニ於テ年位ニナレバ餘程日本ノ經濟狀態モ變ツテ來ルヂヤナイカ、斯様ニ考ヘマス、又物價モレタノ時位ニ先ツ物價モ上ゲナケレバ、經濟界ハ直ラヌデヤナイカ、斯様ニ感ジテ居

リマス、其上何處マデモ上ツテ宜イト云フ
譯デハナニ、其位ニナレバ其點デ寧ロ安定期
シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、是ハ私ノ私
論デハアリマセヌ、世界デ經濟論ヲスル人
經濟評論家ノ大抵ノ人ハ皆亞米利加ノ九百
百二十九年ノアノ株式ノ暴落、アノ前位ノ
所マデ物ヲ上ゲナケレバ景氣ハ直リッコハナ
イ、斯ウ云フコトハ識者ノ輿論ノヤウニナッ
テ居ル、是ハ日本デ言ヘバ民政黨内閣時代
ノ金解禁前ノ日本ノ物價ノ程度、其程度マ
デハ大シタコトハナイノデスカラ、其邊マ
デ持ツテ行クヤウニシナケレバナラヌト
思フ、サウスレバ昭和四年カ五年——昭和
三年四年、今一年カ二年、ソレヨリ前マデ
持ツテ行キマスト、政府ノ租稅收入ガ今年
ニ較ベテ二億二三千萬圓アノ當時ハ多カツ
タノデアリマス、增稅モ何モシナイデ二億
何千萬圓ノ自然增收ガ起ルデアラウ、又其
時代ニナレバ增稅ヲ斷行シテモ差支ナイヤ
ウナ時代ニナルデアラウ、斯ウ云フヤウニ
餘リツノ事ヲ長ク伺ツテ居リマシテハ他
ノ質問者ニ害ヲ致シマスカラ此位ニ止メテ
觀テ居ル次第アリマス

○武田委員 只今ノ點

○武田委員 只今ノ點ニ付キマシテ尙ホ私ハ甚ダ疑ヲ持ツ點ガ多イノデアリマスガ、
ノ質問者ニ害ヲ致シマスカラ此位ニ止メテ
置キマス、唯餘リ十分ニ諒解ヲ致シ兼ネタ

ト云フコトダケヲ申上ゲテ次ノ事ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○金光委員長 武田君マダ長ケレバ此次ニ

イト思ヒマス

○金光委員 繼續シテモ宜シウゴザイマス

○武田委員 私ハモウ二ツ三ツアリマスノ

デスガ、今日デナクテモ宜シウゴザイマス

○金光委員長 此次大臣ノ見エタ時ニ……

○武田委員 ソレナラ結構デス

○金光委員長 ソレナラ其程度ニ——中村

君

○中村委員 只今武田委員ノ御話ノ市場政

策ニ關聯シテ、理財局長ニ數字ヲ御示シ願

ヒタイノデスガ、吾々新聞デモ承知シ、議

會デモ問題ニナッテ居ルコトデスガ、昨年ノ

末ニ所謂市場政策デ賣出サレタ所謂有價證

券ノ總額ハ幾ラヂアッテ、其中公債ハ幾ラ

デ、其中大藏省證券ハ幾ラ、此分類ヲ承リ

タイ、之ヲ承ツテ置クト云フコトハ私共ノ

質問ニ付テ相當大切ダト思ヒマス、御分リ

デゴザイマシタラ承リタイト思ヒマス

○富田政府委員 昨年ノ末カラ今年ノ初メ

ニ掛ケテ、日本銀行ノ所謂「オーブン・マー

ケット・オペレーション」ニ依ル公債ノ賣却

高ハ合計二億七千萬圓ト思ツテ居リマス、其

中ニ大藏省證券及米穀證券等ノ短期證券ノ

分ガ約二億千萬圓、アト六千萬圓ガ公債デ

アリマス

○金光委員長 中村君、ソレテ宜シウゴザ

イマスカ

○金光委員 宜シウゴザイマス

○金光委員長 本日ハ大藏大臣、拓務大臣

共御差支ノヤウデアリマスカラ、本日ノ質

問ハ此程度ニ止ヌテ、次會ニ於テ質問ヲ繼

續シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌ

カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○金光委員長 御異議ナケレバ左様ニ取計

ヒマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、

本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後三時五十二分散會